

2023 年度春学期の「現代キリスト教弁証学」

中央聖書神学校(Central Bible College)
講 師 : 岩 村 義 雄
エラスムス平和研究所所長

日 時 : 2023 年 4 月 26 日(水) 第一次時限 午前 9 時~10 時 20 分 トピック: 救済論

主題聖句: 「さて、きょうだいたち、私たちの主イエス・キリストの名によってあなたがたにお願いいたします。どうか、皆、勝手なことを言わず、仲たがいせず、心を一つにし思いを一つにして、固く結び合いなさい」(I コリント 1:10『聖書協会共同訳』)。

<序>

今朝は、決して自慢できない自己紹介をさせていただきます。私が青春のパトスをたぎらし、不眠不休をいとわず献身した異端街道の歩みをご存じの能城一郎先生から講義のお勧めを賜り、承知しました。先生とは、福音主義神学会が神戸で開催された 1998 年、J ばいぶるの最初の作品を贈呈されました。おかげをもちまして、それ以来、30 年近く、聖書原語を学び、研鑽し、主のご意志を理解する上で、有益かつ励みになっています。

日本の福音派の中で最も信者数を擁するアッセンブリーの中央聖書神学校で、「現代キリスト教弁証学」の一コマを担当する機会が与えられて、真理を探究なさる神学生の皆さまと向かい合えることを喜んでいます。

私は、ローマ・カトリック教会三代目として東京都千代田区麴町にあるホイヴェルス神父¹の司牧する聖イグナチオ教会で幼児洗礼を受け、堅信礼²を受けました。にもかかわらず、聖書全体の真理がわかるという原理運動³に入信。東京都三田の天勝塾で約 2 年間共同生活をしました。聖イグナチオ教会のカンガス神父⁴との交友を通じて、統一協会から逆戻りしました。神戸市垂水区のローマ・カトリック教会で妻カヨ子が洗礼を受けるやいなや、籍を入れ、神戸での生活が始まりました。しかし、強烈な活動に明け暮れた思想運動と対照的な穏健な教会では心に平安がありませんでした。船舶会社に勤務しながら、人類が直面している飢餓、貧困、戦争の危険性が解決できないと、眠られない夜、よく配偶者に訴えていました。1975 年、休日に個別訪問してきたエホバの証人(ものみの塔聖書冊子協会)と論じながら、千年王国論こそ人類の究極的な希望だと聖書から論じられました。転向しました。笹川良一⁵の天勝塾⁶

¹ ヘルマン・ホイヴェルス[1890-1977]: イエズス会ドイツ人宣教師, 1923 年来日。1948 年岩村義雄に洗礼。1949 年聖イグナチオ教会[旧名麴町教会]初代主任司祭。第 2 代上智大学・学長。信徒数では日本最大規模の教会。拙論「キリスト教と非戦」(OCC カレッジ講義 エラスムス平和研究所 2015 年 1 頁)。

² Confirmation ローマ・カトリック教会の七つの秘蹟(sacrament)の一つ。聖公会では堅振式と言う。洗礼を受けた者が、さらに信仰を強め、霊の恵みを得るために、按手(あんしゅ)と聖香油を受ける儀式。

³ 世界基督教統一神霊協会(略称 統一協会、統一教会)、2015 年に宗教法人「世界平和統一家庭連合」に改名。

⁴ ルイス・アロイジオ・カンガス[Luis Cangas 1926-] スペイン出身イエズス会司祭。「キリスト教とボランティア道」(宗援連 東京大学 2015 年 17 頁)。『黄金の日日』(1978 年、NHK 大河ドラマ)でルイス・フロイス役。

⁵ 笹川良一[ささかわ 1899-1995]箕面市出身。勝共連合名誉会長。全国モーターボート競走会連合会(全モ連)の設立。座右の銘は「世界一家 人類兄弟」。国粋大衆党総裁、筆者は渡米で身についた英語力のおかげで、勝共連合の集い、海外では笹川の通訳を担うだけでなく、統一教会の英文機関誌「Unified World」の編集長兼発行責任者を務めた。

⁶ 天勝塾(てんしょうじゅく) 笹川良一 が統一協会に提供した東京都港区三田の 2 階建ての大きな旧家。幹部の宿舍。

時代、現在、異端と分類されている末日聖徒イエスキリスト教会や、異教の万教帰一の生長の家、創価学会の座談会にも出席していました。異端と称されるグループを体験し、横道をぐるーっと遠回りをしてきた異色の経歴をもつ牧師です。10代から何が真理かを人一倍追求するパトスが強かったせいもあります。既成宗教のヒエラルキーに対する反骨精神、14歳の時、父親のノイローゼで親戚にあずけられた時のトラウマ(心的外傷)、青少年活動を通じて、理想を追求する正義感が煮えたぎっていたことも要因です。論理的、科学的に確信に満ちた辻説法も惹きつけられました。それぞれの宗教は苦悩、鍛錬、ねつ造を通じて、徳の砥石になりました。

宗教遍歴は「真理」というキーワードに執着したことだったかもしれません。今も求道者のスピリットは色あせていません。子どもの時から、昆虫、生き物を求めて山野を駆けずり回ったように、主の山を登っています。道に迷った時には、磁石のように、「この道を行け」、と聖書が示してくれます。しかし、時々、コンパスの示す道が二通り、否、三通りあります。それがまるで逆、違った方向を示しています。そんな場合は、どちらが正しいかという二元論ではなく、何が正しいかという選択をする知恵が宗教遍歴を通じて養われました。禁じられた異端信仰にみなさんも挑戦しなさいと誘導しているわけではありません。ですから私の牧会する神戸国際キリスト教会では、「疑う者は救われ、信じる者は救われない」という変わった基準があります。今朝は、異教である仏教、神道、ヒンドゥー教などの諸相への論駁ではなく、キリストを信じるキリスト教系の宗教者の嘘をどのように見抜くかをご一緒に考えましょう。

目次

第1次限	第2次限
(1) 歴史上の分派・異端	(1) 繰り返される遍歴
a. 「分派争い」は異端の源泉 3	a. エホバの証人との出会い 19
b. 分派(分裂)から異端に 3	b. 入信への経緯 20
c. スキスマは神が歴史を支配、保持、 介入なさっている証拠 4	c. どんな人々がエホバの証人に なりやすいか 21
(2) 聖書の真理を説き明かすという原理	(2) 千年王国にいのちをかけた女性たち
a. 若者に浸透する 6	a. 非戦が真理契機 24
b. 宗教と政治 7	b. 時代に翻弄された明石静栄 28
c. 日本憎悪の歴史認識と 日本右翼の合体 8	c. 戦後、最初のエホバの証人 神田モード 31
(3) どうして原理から脱会したか	(3) 異端はやがて正統に脱皮する
a. 平和運動は必ずしも反戦ではない 10	a. 宗教者としての忠実さは奨励される べきか 34
b. 『原理講論』に対するゆらぎ 11	b. 息子を殺すアブラハムの信仰 35
c. 非暴力の萌芽 12	c. いかなる暴力からも遠ざかるから、 共存する 37

(1) 歴史上の分派・異端

a. 「分派争い」は異端の源泉

「弁証学」は、正統派神学を学ぶ方たちのカテゴリーではありません。いわゆる異端といわれる人たちも伝道、牧会、実践する上で訓練していくために、名称はちがっていても履修を要求される課程です。

エクレーシア(ἐκκλησία 会衆, 集会, 教会 *ekklesia*)は、「主は一人, 信仰は一つ, 洗礼(バプテスマ)は一つです」という「信仰は一つ」の共同体が成立したのです(エフェソス 4:5)。ユダヤ教ではアブラハム, イサク, ヤコブの神が唯一の神でした。「聞け, イスラエルよ, 私たちの神, 主は唯一の主である」と告白します(申命記 6:4)。しかし, ユダヤ教はイエス・キリストを神とは告白はしません。「信仰は一つ」(*mia pistis*)の共同体が西暦 1 世紀に歴史上登場しました。קָהָל (ヘブライ語カハール *qahal* 集会)から「コリントにある神の教会と, キリスト・イエスにあって聖なる者とされた人々, 召された聖なる者たち, ならびに至るところで私たちの主イエス・キリストの名を呼び求めるすべての人々へ。イエス・キリストは, この人たちと私たちの主です」と「私たちの主イエス・キリストの名を呼び求める」⁷トポスです(I コリント 1:2)。

教会は、「分派争い」(ギリシャ語 σχίσμα スキスマ *schisma* <分裂, 分争の意> 英語 *heretics*)をどのようにみなしてきたでしょうか。

パウロは、「それは, 体の中に分裂(スキスマ)が起こらず, 各部分が互いに配慮し合うためです」と言いました(I コリント 12:25)。分裂は避けなければならないとパウロは助言しました。

b. 分派(分裂)から異端に

キリスト教も, ユダヤ教も, 仏教も考え方は秩序を保とうすると, 必ず, 反目が生じ, 分裂が生じました。「ファリサイ派の人々の中には, 『その人は安息日を守らないから, 神のもとから来た者ではない』と言う者もいれば, 『どうして罪のある人間が, こんなしるしを行うことができるだろうか』と言う者もいた。こうして, 彼らの間で意見が分かれた(分争《スキスマ》が生じた『口語訳』)」(ヨハネ 9:16)。

スキスマは, 布が破れる, ひづめが分かれるの意です⁸。「誰も, 真新しい布切れで, 古い服に継ぎを当てたりはしない。その継ぎ切れが服を引き裂き, 破れ(スキスマ)はもっとひどくなるからだ」(マタイ 9:16)。破れ, 分かれです。パウロは霊的に枯渇して, 肉の行いに陥らないように述べました。そのリストに「分派」があります。「偶像礼拝, 魔術, 敵意, 争い, 嫉妬, 怒り, 利己心, 分裂, 分派」です(ガラテヤ 5:20)。「分派」(ギリシャ語 αἵρεσις ハイレスィス *haireisis*)は, 動詞「《自分で》選ぶ」(αἰροῦμαι ハイルーマイ *hairumai*)から派生して, 後の「異端 英語 ^{ヘレスィー} *heresy*」として闘争の原因になります。「しかし, 民の間には偽預言者も現れました。同じように, あなたがたの間にも偽教師が現れることでしょう。彼らは滅びをもたらす異端(ハイレスィス)をひそかに持ち込み, 自分たちを贖ってくださった主を否定して, 自らの身に速やかな滅びを招いています」(II ペトロ 2:1)。

そこで, パウロは, 主題聖句の「さて, きょうだいたち, 私たちの主イエス・キリストの名によってあなたがたにお願いします。どうか, 皆, 勝手なことを言わず, 仲たがい(スキスマ)せず, 心を一つにし思いを一つにして, 固く結び合いなさい」と勧めました(I コリント 1:10)。

⁷ 『神のみ名は「エホバ」か』(岩村義雄いのちのことば社 1998 年 64 頁)。

⁸ 『コリント人への第一の手紙講解』(榎原康夫 聖文舎 1984 年 556 ページ)。

c. スキスマは神が歴史を支配、保持、介入なさっている証拠

私たち神戸国際キリスト教会の先祖でもあるヤン・フスは「聖書のみ」という原宗教改革を繰り広げました。宗教改革者マルティン・ルター[1483-1546]より前から宗教改革の素地を醸成していました。そのフスはパウロの言葉を引用しました。「あなたがたの間で、誰が適格者かははっきりするためには、分派争いも必要でしょう」と、言い放ちました(I コリント 11:19)。パウロもそうですし、イエス・キリストをはじめ、聖書の中で靈感の書物の中で用いられている神の器は二元論的な思惟であってはなりません。二元論、善か悪か、光か闇かのどちらかに偏る聖書字句拘泥主義にならないように知性面で訓練されることが求められます。たとえば、前節で言及しましたスキスマを考えてみましょう。パウロはガラテヤ人への手紙 5 章 19-21 節で、キリスト者が避けるべき「肉の行い」¹⁰をあげています。そのリストにハイレスィス、つまり「分派」があります。神学を学ぶみなさんは弁証学によって思いに刻むことが求められます。まったく 180 度違うことが聖書の中でしばしば書かれています。

フスは、「異端者(heretics)の書物は、彼らが言っていることの中に真理がある限り(dum in ipsis veritas continetur)、読まれるべきであって、焼かれるべきではない」、と述べました¹¹。フスに大きな影響を与えたのは、根源からの教会批判家のワルド派です¹²。フス以外に先駆的宗教改革者にジョン・ウイクリフ[1324-1384]がいます¹³。ウイクリフは「聖書の信仰を聖霊がお命じになるのとは違うように執拗に解釈する者はだれでも異端者である」と発題しました¹⁴。学校の教科書にも出ている 1517 年の宗教改革はすでにフスやウイクリフによって実践されていました。ただワルド、フス、ウイクリフたちのはたらきは、領主たちの権力(エクスーシア)と連携していなかったことも注視すべきです。ちょうど真のボランティアが「お上」の下部組織にならないこと、資格、表彰、財政支援を受けなくても災害現場、紛争地、被災者¹⁵に仕えることと同様と言えます。周知の通り、歴史は権力者、勝者、支配者がつくってきました。分派は、歴史上、注目されてこなかったのも当然です。

キリストの道に属するはたらきは、ヒエラルキー的な、特に教皇の権力の神学、および国家と共にローマによって組織化され支配された帝国教会から距離を置いていました。しかし、欧州全体にマグマのように地盤変化を起こす要因になっていました。それらの伏線が宗教改革の幕開け前に精練されていたのです。つまりスキスマという分派が、民衆が自分で聖書を手にして、親しむことができる日々の働き(ザッへ)につながりました。一方、エキュメニカル¹⁶運動は *mia pistis* を旗印に一致しようとします。世に福音宣教の力を見せる意図もあります。

⁹ ヤン・フス[1369 頃-1415] チェコ出身。新しい聖書観、思想、国造りをルター、カルヴァンより先んじた思想家。教会のエクスーシア(権威)を否定。悪魔を描いた帽子をかぶせられ、火刑に処せられた。

¹⁰ ἔργα τῆς σαρκός エルガテスサルコス *erga tes sarkos* 「肉の行い」《『聖書協会共同訳』、『新改訳』2017, 改訂 3)、「肉の業(わざ)」《『新共同訳』、『フランシスコ会訳』、『新改訳』》、「肉の働き」《『口語訳』》と訳出。

¹¹ “*De libris hereticorum legendis, Plemica*” Jan Hus, J.Ersil, Opera Omnia, 22 (In Aedibus Academiae Scientiarum Bohemoslovac, Prague, 1966), pp.19-37, p.21.

¹² ピーター・ワルドー[1140-1218?]による禁欲的な一般信徒から成る兄弟共同体。自身の財産を貧しい人々に分け与えた。司教と教皇による禁止にもかかわらず、ワルド派は(しばしば女性までもが)二人ずつで使徒的説教者として方々の土地を旅して回った。彼らは、聖書の大部分を暗記していた。「カトリックの貧者」とも言われた。誓約、兵役、教会建築、十字架称賛、煉獄、死刑も拒否していた。『キリスト教本質と歴史』(ハンス・キュンク 福田誠二訳 教文館 2020 年 564 頁)。

¹³ イングランドの神学者。カトリック教会の腐敗を批判、教会の教導権を否定。神の前での平等を説いた。1382 年に史上初めてとなる英文の新約を出版、翌年には旧約を出版。ウイクリフの遺体は墓から掘り起こされ、焼却され、川に捨てられた。

¹⁴ “De Fundatione Sectarum, Polemical Works” Wyclif, vol.1. p.74.

¹⁵ ボランティアは被災者、倒壊家屋、破壊された自然だけに接するのではない。生態、貧困、生活をも見るはたらきである。

¹⁶ 「エキュメニスティ」は超宗教、一方、「エキュメニカル運動、エキュメニズム」はキリスト教界の一致した働きに用いられている。

一貫して、エキュメニズムだけでなく聖書自体も分裂については否定的です¹⁷。二律背反であっても、「主は御旨にそってすべての事をされるのです。逆らう者(ヘブライ語 רָעָה ラアー<「悪」の意>rah)をも災いの日のために造られる」とあるように、「悪」が活用される事例もあります(箴言 16:4)。神は不従順になったイスラエル人をアッシリア人、バビロニア人などを用いて北のイスラエル王国、南のユダ王国を滅ぼしました。

したがって、神かサタン、善か悪か、光か闇かのように、二元論で聖書を解釈すると、マニ教¹⁸や、ゾロアスター教¹⁹のように歴史を善悪闘争歴史の短絡な視座に陥ってしまいます。最終的に神の勝利で完結するという歴史観に陶醉し、時代の危機への^{クリティック}critic²⁰に無頓着なら愛のないことです。ἐξαγοραζόμενοι τὸν καιρὸν, ὅτι αἱ ἡμέραι πονηραὶ εἰσιν。²¹(エフェソス 5:16)。自分達の規約、戒規、服従に従わない者に非寛容に迫害、差別、時には殺害します。ピラミッド型の宗教エリート帝国はマイノリティー(少数者)に対しても無慈悲です。十字軍²²、異端審問、女性哲学者ヒュパティア²³[370-415]など流血の罪を負ってきました。ゼカリヤ書 7章 9,10 節でも「……互いに慈しみ、憐れみ合え。寡婦、孤児、寄留者 貧しい者を虐げてはならない。互いに悪を心にたくらんではならない」と繰り返し強調されています。

つまり、フスが強調するように、「分派、分争」などの分裂は神の教会に必要なことは明々白々です。「凡てのこと相働きて益となる」と神の介入があったと言えるでしょう(ローマ 8:28)。初代教会に帰る平信徒運動 lay movements が伝統的教会の秩序、律法、 sacrament(ギリシャ語 μυστήριον ミュステリオン *mysterion*)²⁴、使徒職を否定しました。再洗礼派²⁵は 16 世紀に幼児洗礼を否定。信仰を自ら告白できる成人に限定しました。メノナイト派のメノー・シーモンズ[1496 頃-1561]は、キリスト者の新生は受洗ではなく、信仰と神のみことばによる²⁶と発題したために迫害の対象となりました。再洗礼主義はトーマス・ミュンツァー[1490 頃-1525]や、1520 年代の「内なる光」Inner Light を唱えたグループは、後のジョージ・フォックス[1624-1691]によって引き継がれます。ジョージ・フォックス[1624-1691]は 1648 年にフレンド会(友会徒 Friends)を作りました。一般にはクエーカー(Quaker)教徒と呼ばれています。ミュンツァーを除いて、カリスマの指導者はいません。1708 年、ドイツのシュヴァルツァッハのアレグザンダー・マック Alexander Mack [1679-1735]が、7 人と共にブレザレン派を創立します。マックもやはり突出して知られているわけでもありません。宗教改革者マルティン・ルター[1483-1546]、

¹⁷ 参照:「もしサタンが内輪もめして争えば、立ち行かず、滅びてしまう」(マルコ 3:26)。

¹⁸ 拙論「アウグスティヌスの生涯と信仰」(KBH 2015 年)。

¹⁹ 拙論『キリスト教と終末論 一異端による終末論と自己義認一』(神戸国際キリスト教会 2020 年 1 頁)。

²⁰ 『英語語義語源辞典』(三省堂 2004 年 276-277 頁)によると critic はギリシャ語 κρίνειν の「危機の、重大な、決定的な」に由来。

²¹ エクサゴラゾメノイトン カイロン ホティハイヘメライポネライ エイスン *exagorazomenoi ton kairon hoti hai hemerai ponerai eisin* 「良い時間を贖いとりなさい。今は悪い時代だからです」(岩村訳) は ἀγορά アゴラ *agora*<市場の意>で買い戻す、redeem レディームする、つまり「贖う」が原意である。

²² 拙論「キリストはキリスト教だけのものではない」第 1 次トルコボランティア報告(神戸国際支縁機構 2021 年 13-15 頁)。

²³ ヒュパティア[370-415] 女性哲学者 優れた数学者・哲学者として弟子から政界と宗教界に要人を輩出しつつも、政治的対立に巻き込まれ、キプリアヌスによって非業の死を遂げたと言われている。歴史的に、「教会の外に救いなし」(ラテン語: *Sallus extra ecclesiam non est*)、とキプリアヌス・カルヒドヌス[3 世紀初頭-258]が主張。その遺伝子が魔女狩り、異端審問、宗教戦争に受け継がれてきた。女性哲学者ヒュパティアを殺したキプリアヌスはローマ・カトリック教会、聖公会、ルーテル教会、正教会、非カルケドン派で聖人として教会、神学校、家庭で崇められている。

『世界』(岩波書店 2022 年 9 月号 齊藤正美 56-57 頁)。

²⁴ 聖書にない言葉「秘跡」(ラテン語 *sacramentum*)。Sacrament は秘跡(カトリック)、礼典、聖礼典(プロテスタント)、聖奠(聖公会)、機密(ハリストス正教会)と呼ぶ。洗礼、堅信、聖体、告解(ゆるし)、終油(病者の塗油)、叙階、婚姻の七つ。正教会系では「機密」、プロテスタントでは「礼典」「聖礼典」、聖公会では「聖奠」と訳し、「聖餐」と「洗礼」の二つのみ。

『カトリック教会のカテキズム』(カトリック中央協議会 2002 年 379-513 頁)。

²⁵ 『異端信仰』(G.R.エヴァンズ 木寺廉太訳 教文館 2008 年 78-83 頁)。

²⁶ ヤコブ 1:18、ペトロ第一 1:23。

ジャン・カルヴァン[1509-1564]のようなメインストリームのプロテスタント教会とは異なり、底辺の民衆に広がりました。いずれも sacrament を否定したために、ローマ・カトリック教会、メインストリームのプロテスタント教会からも瀆神の罪で断罪され、投獄されました。ルター派、カルバン派と並んでメインストリームであるメソジスト派は、18世紀なかばにイングランド国教会の司祭だったジョン・ウェスレー[1703-1791]によって始められました。ウェスレー兄弟が始めたメソジスト運動は、形骸化した儀式や教理に同意せず、連続性を生み出していきます。1769年以後アメリカに伝わったメソジスト運動は、アメリカ最大のプロテスタント教派を成す飛躍的な発展を遂げます。ペンテコステ派²⁷の爆発的な発展は1906年、米国カリフォルニア州ロサンゼルス市アズサ街(リトルトーキョー)で聖霊によるバプテスマにより、脱自、没我、無意識の痙攣という「聖化」を体験、異言を語り出しました。再洗礼派は職制、秩序をたいせつにする歴史的キリスト教会とは区別して「セクト」として立ち上がりました。「ホーリネス」、「ペンテコステ派」の運動は聖霊によるカリスマ的傾向を帯びています。

(2) 聖書の真理を説き明かすという原理

a. 若者に浸透する

現代社会は、既存の価値観が崩壊し、善悪の基準があいまいで、社会秩序と家庭崩壊の危機に直面しています。若者たちが取り込まれる断面図があります。

キリスト教系の信者、仏教系の中心的活动をしていた青年たちが統一教会日本支部の創立者西川勝²⁸[1925-2023 崔翔翼]に伝道されました。1958年、西川は密入国のため長崎県大村収容所に拘束されるも笹川良一²⁹の後援を受けることになりました。

2022年8月13日、朝鮮民主主義人民共和国(以後、共和国)^{Moon Sun Myung}が、旧統一教会(以後、統一教会)の教祖文鮮明の遺族、妻の韓鶴子³⁰に弔電を送りました。金日成[1912-1994]^{Kim Il-sung}共和国主席以来、長年続く交流から「反共」をどう考えたらよいのでしょうか。

統一教会の共産主義に対抗する政治団体「国際勝共連合(以後、勝共連合)」³¹の改憲案と、自民党の改憲草案が、「緊急事態条項」や「家族条項」などで一致しています³²。

ウクライナ戦争が昨年、2月24日、ロシアの軍事侵攻により始まりました。「台湾有事」を日本有事と結びつけ、防衛予算を6兆円近くにあげるといふ軍備拡大。第二次世界大戦前の日本国内は、鬼畜米英を掲げていたが、今では隣国の共和国、中国を仮想敵国として、繰

²⁷ 『新キリスト教辞典』(佐布正義[1931-2021]いのちのことば社1991年1132-1134頁)。

²⁸ 西川勝は朝鮮から父母と共に2歳に来阪。天理教会で育つ。戦後、日本を離れ、在韓の連合国の通訳。1957年に文鮮明に心服し、原理を伝えるために1958年密入国する。上皇明仁[あきひと1933-]と旧名正田美智子の結婚儀典(1959年)に紛れて脱走。四国で笹川良一と出会い、計らいにより逮捕を免れた。東京都新宿区高田馬場の「雄鶏舎時計店」で笹川の庇護のもとで布教をはじめる。西川に導かれた澤浦秀夫[1938-2005 中央大学法学部 岸信介元総理大臣と福田赳夫元総理大臣に原理講義]は小宮山嘉一(1962年7月入教)に伝道。小宮山により、立正佼成会の約50名の青年たちと、元立正佼成会会長秘書の久保木修巳[1931-1998]が入信。2年後、世界基督教統一神霊協会は宗教法人として発足。久保木は会長に、同年、「全国大学原理研究会(カーブ Collegiate Association for the Research of Principles)」が小宮山によって設立され、全国の大学で学生伝道に広まる。1968年、岩村義雄も入信。参照:『日本統一教会 先駆者たちの証言(1)』(世界基督教統一神霊協会歴史編纂委員会2008年)。

²⁹ 笹川良一[ささかわ 1899-1995] 箕面市出身。勝共連合名誉会長。全国モーターボート競走会連合会(全モ連)の設立。座右の銘は「世界一家 人類兄弟」。国粋大衆党総裁、岩村義雄は渡米で身につけた英語力のおかげで、勝共連合の集い、海外では笹川の通訳を担うだけでなく、統一教会の英文機関誌「Unified World」の編集長兼発行責任者を務めた。

³⁰ 韓鶴子 現・世界平和統一家庭連合(統一教会の後身)総裁。文鮮明の三番目の妻。マザー・ムーン。

³¹ 韓国「国際勝共連合」(1968年1月13日創立、同年4月1日日本創立)。機関紙『国際勝共新聞』、『思想新聞』、月刊誌『世界思想』発行。統一教会は日刊新聞『世界日報』(世界日報社発行)。CIA (Central Intelligence Agency)は、国防総省(ペンタゴン)や国家安全保障会議などとともに、1947年にトルーマン大統領が創設。1954年にWACLの前身APACL(アジア人民反共連盟)を設立。米国の中央情報局。WACLの青年組織がWYACL (World Youth Anti-Communist League)である。主に自民党議員がメンバーを構成。

³² 『東京新聞』(2022年8月2日付)。

り返しテレビ、マスコミ、SNS で発信しています。日本人の多くは条件反射のように、「北朝鮮」の国名を聞くだけで、おびえます。昨今、隣国の共和国のテポドン、中国の尖閣諸島問題など日本列島に暗雲が垂れ込めています。先週 J アラート(全国瞬時警報システム)で北海道だけでなく、日本列島に緊張が走りました。

日本が世界に誇る平和憲法の存続に赤信号です。入管法改悪、原発再稼働、軍備拡大などの政・官・財・学、およびメディアの志向は民主主義体制から脱線しています。

b. 宗教と政治

勝共連合³³は、2017年4月に動画「憲法改正について」(17分)を公開しています。当連合の渡辺芳雄たち(前副会長)は、自分たちの遊説カーで改憲案を力説して回りました。まず「緊急事態条項の新設」を掲げています。災害大国ゆえに、「政府の権限を強化して、所有権を一時的に制限したり、食料や燃料の価格などをしっかり規制したりして命を守る」べきとしました。勝共の機関誌『世界思想』(2021年5月号)には、緊急事態条項の対象を「戦争や災害など」と理論展開しています。

自民が野党時代の2012年4月にまとめた改憲草案があります。外部からの武力攻撃や内乱、大規模災害などに備える内容です。内閣は、法律と同じ効力を持つ政令を制定し、国や公の機関の指示に「何人も従わなければならない」とするという案です。

古来、太鼓をたたいて舞を舞い、出陣する自軍の兵士の士気を高めるのを「鼓舞」と言います。自民党と勝共連合の関係は、相互に奮い立たせる密着した関係です。

日本最大の右派改憲団体、「日本会議」³⁴などと統一教会はスクラムを組み、憲法改正のキャンペーンを全国各地で開いてきました。1968-1970年の全共闘運動大学紛争の時期、ゲバ学生³⁵が学園で暴れていました。知的負荷に耐えられない私は当初、恩師末次一郎³⁶[1922-2001]の下、民族派³⁷でした。内ゲバ、機動隊の導入、イデオロギーの確執に、学歴も捨てました³⁸。運動に身をやつしました。そのために、全共闘系の学生らと衝突、「岩村が来た」、とこづかれました。渋谷のハチ公付近では全共闘、民青、左翼労働者から取り囲まれたりしたのは一度や二度ではありません。孤立無援でした。時折、統一教会の澤浦秀夫³⁹が円陣を破って、私の前に立って、弁護しました。素性のわからない澤浦に親近感を抱いたのは自

³³ 世界平和統一家庭連合(統一教会)の政治団体。韓国で、1968年1月13日、「国際勝共連合」創立。同年4月1日、日本でも同団体を創立。初代会長に、久保木修巳が就任。「救国の予言」として、自主憲法制定をアピール。

³⁴ 枕島有三[かみしま ゆうぞう 1945-] 1968年、生長の家右翼が主導権を取り、「長崎大学学生協議会」を原研と創立。中退し、日本青年協議会・日本協議会会長。日本会議事務総長。「美しい日本の憲法をつくる国民の会」事務局長。

³⁵ ゲバ棒の語源は「ゲバルト棒」。ゲバルト(Gewalt)とはドイツ語で「暴力」の意。

³⁶ 末次は、現 JICA(ジャイカ 独立行政法人国際協力機構 Japan International Cooperation Agency)、青年海外協力隊の創設(国際協力機構青年海外協力隊事務局編 2006年)、日本青年奉仕協会(JYVA)の創設。『「ボランティア」の誕生と終焉—贈与のパラドックス—の知識社会学』(著者仁平典宏 名古屋大学出版会 2011年)の中で1章を用いて言及。

³⁷ 末次は、佐賀県出身・佐賀商業学校・豊橋第一陸軍予備士官学校・陸軍中野学校二俣分校を卒業。陸軍少尉で敗戦を迎えた。佐賀の実家(材木商)を手伝う。米兵を殺した油山米軍捕虜処刑事件に関連はなかったが、米軍憲兵が近々逮捕に向かうとの報を受けた。1946年1月、情報を聞いて、佐賀の自宅から北海道へ逃げた。以後、「宮崎一郎」と名乗って山にこもった。翌5月、上京して、靴磨きなどで生活。戦犯として巣鴨プリズンに収容されていた戦犯岸信介に戦後の復興の一環として差し入れを通じて親しい関係を築いた。末次は健青会とは別に腹心である祐成善次[1931-2019 すけなりよしつぐ]を事務局長にして1969年に「安全保障推進国民会議」を東京都千代田区平河町1-4に立ち上げた。反共の色彩を強めた。日本健青会綱領(1962年第13回全国大会)に、「あらゆる暴力から祖国をまもり、……真の世界民主主義と人類平和実現に邁進する」と謳う。末次は保守であり、天皇制を擁護する反面、米ソの核実験に強く抗議した。簡潔な文章からも決して理想主義者ではなく、実践家であった。『戦後の国づくりに挑戦した青年運動の記録』日本健青会「さきがけ」縮刷版(「さきがけ」縮刷版制作委員会 末次一郎顕彰委員会 2004年 238頁)。『戦後』(末次一郎 オール出版 1997年 14-24頁)。

³⁸ 末次が起こした日本健青会は、末次自身が独学を説く指導者であった。高校1年(16歳)から岩村の人生を左右した。

³⁹ 本稿5ページ 脚注16参照。

然のなりゆきでした。統一教会との最初の出会いです。

当時、長崎大学で、日本で、はじめて右翼が大学自治のイニシアティブをとりました。それは原理研と生長の家の学生がスクラムを組んで、民族派との戦いに勝利したからです。なりゆきとして敵の敵は味方となります。統一協会と生長の家が共闘することにより、左翼に抗う「血盟」に結びつくのは必然だったのです。

私は京都学派の岡 潔⁴⁰[1901-1978]がすすめる市民講座⁴¹に通っていました。後でわかったことですが、全国各地の講座事務局は統一教会が運営していました。やがて無二の友小宮山嘉一と出会います。小宮山率いる(本部＝東京都渋谷区南平台 45)先鋭部隊の背後に、宗教法人世界基督教統一神霊協会(同 松涛町 1-1-2)が控えている二重構造です。親泣かせの「原理運動」、学生間にひろがる学業放棄や家出は、小宮山の放つカリスマ性にあると、私は考えます。全国大学原理研究会の初代会長小宮山は燃えるような運動を全国の大学で着火しました。日本の初代会長の久保木修巳⁴²[1931-1998]も彼に感化され立正佼成会から転向したひとりです。当時の多くの大学生たちは小宮山の激しい弁舌、理論、全身からほとぼり出るオーラにより、統一運動に引き寄せられたことは日本の統一教会出版の回顧録でも否定していません⁴³。私自身も兵庫県道場町の修練所、厚木の研修所で学びました。成績上位者であったせいか、市民大学の事務局長梶栗玄太郎や、阿部正寿たちとの共同生活のメンバーに選ばれました。天勝塾という笹川良一が提供した 2 階建ての大きな旧家でした。私は屋根裏に増設した小さな部屋で 2 年近くの歳月を過ごしました。

当時も信仰生活は質素でした。日に 3 度、耳パンをかじり、リヤカーに廃品回収をしつつ伝道を行なう生活でした。

小宮山は 1971 年に原理から遁走⁴⁴し、小宮山の行方は今なお不明です。彼を思うと胸が痛み、「レ・ミゼラブル」(ああ無情)の心境です。私も同じ時期に統一教会から離脱しています。

c. 日本憎悪の歴史認識と日本右翼の合体

緊急事態条項、家族観、国防軍拡充の三つにおいて自民党と統一教会は二人三脚です。自民党参院議員山谷えり子(ローマ・カトリック教会信徒)も、機関誌『世界日報』に数度ににわたり寄稿。山谷事務所の広報誌に、日本会議系団体が推奨する性教育批判の論文を紹介しました⁴⁵。

「勝共連合」の改憲案と、自民党の改憲草案の一致点は、金太郎飴です。

「中国の覇権的行動」、「北朝鮮の核・ミサイル開発や挑発的行動」、「大規模地震や原発事故」などを主張する勝共の渡辺芳雄副会長は、改憲の優先順位として「緊急事態条項の新

⁴⁰ 岡 潔[きよし]は数学者。奈良女子大学名誉教授。「数学とは生命の燃焼」「情緒とは野に咲く一輪のスマイルを美しいと思う心」多変数解析関数の分野における三大問題を全て独力で解決。筆者は、日米安保推進の運動で訪問し、懇意になった。

⁴¹ 『心情圏—岡潔先生を囲んで—』(全大原研 1967 年 4 月号 20-27 頁)。副島嘉和[そえじま よしかず 1947-]たち 5 人が訪問。

⁴² 久保木修巳は庭野日敬[につきょう 1906-1999]在家教団立正佼成会の開祖(初代会長 公称約 170 万世帯の秘書。

立正佼成会の模範的な家庭で育ち、佼成会の次世代のリーダーとして期待されていた。佼成会の全国青年研修会で頭角を表していた小宮山嘉一の入信、伝道により、転向。久保木は統一協会でモーセと称される指導者になった。統一教会の教えを学んでいた佼成会の青年部 50 名ほどが 1962 年に立正佼成会から統一教会に転じた。

⁴³ 『成約新聞』第 17 号(世界基督教統一神霊協会 1962 年 7 月 15 日付)。参照:『日本統一運動史～文鮮明先生御夫妻と日本の統一教会および統一運動の歩み』(光言社 2000 年)。

⁴⁴ 拙論「キリスト教とボランティア道」(同 22 頁)。1962 年 7 月に立正佼成会から統一協会に転向した小宮山嘉一が合同結婚式のため訪韓する直前、夜を徹して話した。二人とも創造原理について、とりわけ「四位基台」に関する疑義を吐露していた。しかし、相互に相手を気遣い、今日まで胸に秘めたままである。

⁴⁵ 『毎日新聞』(2022 年 8 月 8 日付)。

設」を真っ先にアピールしました。2018年に公表した「たたき台素案」では、大規模災害時の対応として同様の緊急事態対応を規定。対象に「外部からの武力攻撃や大規模テロ・内乱」を含めるかについては、「対象にすべきだとの意見がある」と、耳にすると、勝共なのか、自民党側の言い分なのかははっきりと線引きができません。

日本の右翼の最高峰のひとつと言うべき日本会議は、徹底して隣国である中国、韓国、共和国を敵視してきました。しかし、朝鮮発祥の統一教会と蜜月な活動をしています。なぜ。

家父長制の伝統的価値観に固執

家庭、性的マイノリティ(少数者)、ジェンダー差別の価値観です。家族をたいせつにする世界観は普遍的ですが⁴⁶。しかし、両者に共通するのは、家父長制に抵触するセクシュアル・マイノリティ(少数者)⁴⁷への非寛容⁴⁸の論理です。統一教会は「二性性相」⁴⁹教理に基づき、LGBTQ⁵⁰に対してはアレルギー反応が顕著であることも看過できません。

日本会議の最大の支持団体は次の通り3つです。①神社本庁⁵¹、②統一教会(世界平和統一家庭連合⁵²、勝共連合など)、③モラロジー研究所⁵³と言えます。

70年代後半の元号法制化運動で、1997年、日本会議は創立時に統一教会と連帯しました。熊本県では法制化推進のための県民会議を共同で結成。生長の家選出の総務庁長官(現総務省)玉置和郎[1923-1987]⁵⁴は勝共連合の顧問でした。政治家は日本の伝統的価値観である家父長制度に固執しました。家父長制を支持する日本会議は勝共連合と共存してきました。その結果、日本は諸外国と比較して、ジェンダーギャップ[男女格差]⁵⁴が甚だし

⁴⁶ 拙論「宗教はコロナウイルス後の社会をどう目指すか—第1章 歴史についての反省と検討—」(WCRP 平和大学講座 2022年3月10日 15-17頁)。

⁴⁷ 拙稿『本の広場』(2020年7月号 18頁)。

⁴⁸ “「非寛容」こそ宗教者のアキレス腱” ホームページ「神戸国際キリスト教会」の「エキュメニシティ」の項参照。 <http://kicc.sub.jp>

⁴⁹ 原因である創造者の二性性相は、結果である被造物からわかる。神の見えない性質、すなわち神の永遠の力と神性は、世界の創造以来、被造物を通してははっきりと認められるから。したがって、彼らには弁解の余地がありません(ローマ1:20)。人間ならば男性、女性、動物ならば雄と雌、植物ならば雄しべと雌しべといった有形の形状、および無形の性相として、心と体、本能と体、向日性などと体といった具合に万物を合理的に説明。だが無性生殖など説明不可。

⁵⁰ LGBTQとは、Lesbian(レズビアン 女性同性愛者)、Gay(ゲイ 男性同性愛者)、Bisexual(バイセクシュアル両性愛者)、Transgender(トランスジェンダー 性別越境者)、Queer (or Questioning クエスチョニング 自身の性自認や性的指向が定まっていない、もしくは意図的に定めていないセクシュアリティ)、その他のセクシュアル・マイノリティ(少数者)のこと。

⁵¹ 三輪隆裕[1948-](清洲山王宮日吉神社宮司)は語った。“日本会議は「皇室と国民の強い絆」が「伝統」だと主張しているが”という『週刊金曜日』の質問に対し、答えている。「いや、それは『伝統』ではありません。江戸時代にはごく一部の知識階級を除き、『京都に天皇様がおられる』ということを知っていたか、はなはだ疑問です。本来神社とは地域の平和と繁栄を祈るためのもので、この日吉神社でいえば、江戸時代は氏神の地域と尾張国の繁栄を神様に祈願していました。明治になって、日本という統一国家ができたので、その象徴として『天皇』を据えたのです…… 明治政府は文化と宗教の破壊者です」と強く批判。そして、明治政府の「国家の宗祀」理論や「教育勅語」についても、「このように一つの価値観と規律で国民をしぼる、などという発想は、多神教の神道にはありません」と一刀両断している。『週刊金曜日』(2016年5月27日 金曜日 20-21頁)。

⁵² ジェンダー平等を嫌う社会のエトスとして、女性の経済的自立を阻む差別的な職場や文化、育児を強要する夫、女性の社会進出の割合に表れている。ジェンダー・ギャップ[男女格差]指数によると、153カ国のうち121位。出典は世界経済フォーラム(WEF World Economic Forum 2021年3月「The Global Gender Gap Report 2021」)の公表に基づく。各国における男女格差を測るジェンダーギャップ指数(Gender Gap Index : GGI)で、日本は、女性管理職 14.7%、パートタイムの女性割合は、男性の2倍、女性の平均所得は男性より43.7%低い。 <https://www.weforum.org/reports/global-gender-gap-report-2021>

⁵³ 道徳の教科化に影響を与えた宗教右派とは、「日本会議」より「モラロジー研究所」が顕著。創始者の廣池千九郎 1866-1938はモラル(道徳)とロジー(学問)を組み合わせた「モラロジー」を提唱。「道徳科学であって、宗教ではない」と主張する。実際は宗教と言える。なぜなら創始者の教えを絶対化し、先覚者の「天照大神が道徳のかかみ」という「最高道徳」を「真理」として信じているからである。単なる道徳ならば、時代と共に変遷するのが一般的。現理事長廣池幹堂[1950-もとかか]は、「“不道徳”な現行憲法は一刻も早く改正すべき」と主張。『文藝春秋』(2020年1月号 廣池幹堂)。

日本会議、安倍政権と自民党、産経新聞と『正論』などの歴史認識を形成するキーマンの一人に西岡力[つとむ 1956-]がいる。麓澤大学客員教授(れいたく 1935年「モラロジー道徳教育財団」[旧モラロジー研究所]の創立)、公益財団法人モラロジー研究所歴史研究室長、拉致被害者の支援組織「救う会」会長、東京基督教大学大学前教授を担うプロテスタント教会メンバー。

⁵⁴ 外性器に象徴される生殖機能に焦点化して人間集団を二項に非対称的に差異化する言語的認知カテゴリー。

いのは当然の帰着であります。

女性天皇に自民党政権が拒絶反応を示す理由がおわかりいただけるでしょう。

1978年10月、日本武道館での「元号法制化実現総決起国民大会」に日の丸はち巻姿で勝共連合も参加していました。一蓮托生なのです。同盟関係と考えられるでしょう。

日本会議は復古的な家父長制の尊重、勝共連合は教義に沿った「純潔教育」が主張の根底にあります。勝共連合に翻弄される極端な政治イデオロギーに固執する日本会議と生長の家は決別するのは当然の成り行きでした⁵⁵。勝共連合では、文鮮明⁵⁶教祖とその家族を前に主要国の元首たちがひざまずく儀式があります。天皇陛下の役を久保木修巳⁵⁷。文鮮明により任命された各国メシアがいます。そのメシアである日本の幹部メンバーたちが、神である文鮮明を崇拝します。勝共連合の狙いは38度線で分断された南北統一ではありません。世界統一です。再臨のキリストであるメシアが世界を征服し、頂点に立つことです。エクスーシア(権威、権力)⁵⁸を掌握するために、手段を選ばず、政・官・財・学、メディアに近づき、攻略してきました⁵⁹。万物復帰という教理で莫大な資産を収奪したのです。

キリストは言った。「私が来たのは地上に平和をもたらすためだ、と思っはならない。平和ではなく、剣をもたらすために来たのだ。私は敵対させるために来たからである。人をその父に娘を母に嫁をしゅうとめに。こうして、家族の者が敵となる。私よりも父や母を愛する者は、私にふさわしくない。私よりも息子や娘を愛する者も、私にふさわしくない」(マタイ10:34-37)。

平和をもたらすためにキリストは来たのではないとはどういう意味でしょうか。親泣かせの原理運動のように、家庭崩壊をキリストは決してすすめませんでした。統一教会、日本会議が固執するような家父長制の伝統からの解放でした。

(3) どうして原理から脱会したか

a. 平和運動は必ずしも反戦ではない

2022年2月24日、ロシア軍はウクライナに軍事侵攻しました。許されない暴挙でしょう。日本人の多くはロシア悪しの大合唱を鵜呑みにし、支持しました。

ウクライナ国ゼレンスキー大統領は徹底抗戦をウクライナ国民に訴えました。しかし、いつになってもゼレンスキーの口から停戦が出てきません。どう考えるべきでしょうか。もし平和を願うなら、ロシア側だけでなく、ゼレンスキーの硬直化した戦争態度にも黙認すべきではないでしょう。2022年6月にウクライナ訪問した際、お会いしたイルピン STU 大学のギョルギ教授(Georgiy Serdechnyy 37歳)たちは、非戦の尊さについて語り合うことができました。3回目のウクライナ訪問の時、11月にはレフ・トルストイ[1828-1910]著の『戦争と平和』について会話できなくなりました。非戦の書籍が禁書になっていたのです。初代教会、宗教改革前の再洗礼派、ブレザレン派やフレンド派の絶対平和主義が歴史的キリスト教会によって否定されています。晩年のマルティン・ルター⁶⁰、ジャン・カルヴァン⁶¹や聖化の流れも時代に迎合して、

⁵⁵ 『AERA』誌(2017年1月16日号)。生長の家は1983年、激しい政治運動が反面教師となり、自民党支持を停止。

⁵⁶ 文鮮明[ムン・ソンミョン 1920-2012] 平安北道(ピョンアンブクト)の定州(チョンジュ)生。1954年世界平和統一家庭連合、世界基督教統一神霊協会。統一教(協会)。国際勝共連合創立。妻は韓鶴子。拙論「なぜ憲法九条はたいせつか」(「憲法9条をノーベル平和賞に推す神戸の会」セミナー県民会館 2022年2頁)。

⁵⁷ 元『世界日報』元編集長の副島嘉和氏と元幹部の井上博明氏が月刊『文藝春秋』(1984年7月号)に執筆した。

⁵⁸ 拙論『宗教はコロナウイルス後の社会をどう目指すか 第1章』(WCRP 平和大学講座 2022年3月10日)。

⁵⁹ 文鮮明は「まず秘書として食い込め。食い込んだら議員の秘密を握れ。次に自らが議員になれ」と信者に「説法」していた。拙論「なぜ憲法九条はたいせつか」(「憲法9条をノーベル平和賞に推す神戸の会」設立発起人 兵庫県民会館 2022年5頁)。

⁶⁰ トーマス・ミュンツァー[1490頃-1525.5.27]たちの農民の虐殺を領主に求めました。

⁶¹ 「ユグノー戦争」(1562-1598) 死者3千人の多くがローマ・カトリックにより虐殺されたユグノー(仏 Huguenot カルバン主義)。

戦場で殺りくを行った記録は枚挙にいとまがありません。戦争は平和とは共存できないです。敬虔な宗教者であろうとなかろうと、民族、年齢、歴史観に関係なくわかるはずです。

日本の大学が政治闘争に明け暮れていた当時を回顧してみます。

小宮山は、現代の日蓮[1222-1282]のように、時代の波に翻弄されるのではなく、毅然と日本の民の安心立命を願っていました。それは上からの神権政治とは異質なものでした。彼は立正佼成会の将来を背負って立つと庭野日敬会長からも囑望されていました。公称約170万世帯の有力な団体から抜け出した動機は、世界基督教統一神霊協会が示す宇宙復帰の理想こそが真理と当初確信したからです。彼は全国の学生たちに檄を飛ばしていました。クリスチャン、仏教徒、民青の学生たちが続々と彼の下に集まってきました。外部からは、統一教会の中心的な怪物として映っていました。彼の影響で、仏教徒は寺、クリスチャンは教会、無神論者は家を出ました。社会から、親泣かせの原理運動は、世から孤立しました。リヤカーで廃品回収をしながら、清貧に甘んじて平和を訴えたのです。既存の普遍的宗教とは一線を画するようになっていました。小宮山自身は、天皇を中心とする「国」は眼中にはありませんでした。日蓮[1222-1282]は、「國」⁶²と記しました。国家の基盤は民衆であり、國とは民の郷土であり、支配層はその安寧のために存在するのだと、当時としては革命的な主張をしました⁶³。日蓮は、天皇が小さな東国の棟梁に過ぎず、三国四師の仏教の優位性を強調しています。全国大学原理研究会の小宮山は、日蓮の再来かと周囲の注目をひくように、眼光は火、声は稲妻のように大声で叫びました。小宮山には「もののふの道」の風貌、人となり、語り口がありました⁶⁴。反軍国主義でした。『原理講論』⁶⁵を凌駕する小宮山オリジナルの「統一原理」という理論が文鮮明の逆鱗に触れました。説くことが厳禁になったのです。教えを差し止められました。「妬む神」(出エジプト記 20:5)よろしく日本の基礎をつくった西川勝も退けられたことと通じるかも知れません。西川は、多くの日本人信者に「この方がもしやメシア」と思わせた^{ユウ}宣教師でした。才気あふれる文は自己絶対化を優先しました。黒子役の『原理講論』著者劉孝元^{ヒョウウオン}や閨閥による支配層のヒエラルキーをつくりあげました。

b. 『原理講論』に対するゆらぎ

私は短い勝共連合の活動でありましたが、理想に燃える若者たちと駆けました。もはや戦いのない時代を夢見た仲間たちと聖歌を歌いました。皇居の堀目がけて走ったり、剣道の素振り、弁論の発声練習も苦になりませんでした。このメンバーたちのためなら戦場の十字砲火であっても、何をさておいても見捨てない団結力がありました。中でも、天勝塾で共同生活をしてきた中央大学弁論部部長だったS兄⁶⁶とは、気が合いました。落語好きでもあり、生来

⁶² 「国」は中に「王」がある。一方、「國」は、地域の「域」で、Wiktionaryによると、「域」は、くに、諸侯の領土、故郷の意味がある。拙論「なぜ憲法九条はたいせつか」(「憲法9条をノーベル平和賞に推す神戸の会」セミナー県民会館14頁)。

⁶³ 佐藤弘夫「国家という問題と日蓮」(『春秋』2015年6月号No.569 6-9頁)。

⁶⁴ 「武士道と云は死ぬ事と見付たり」という佐賀県の「葉隠」の「もののふ」の生き方を貫いた末次一郎に通じるもののふの道を貫いていた。末次は官位、名誉、財を求めず、命をも捨ててかかる迫力で、戦後の歴代総理たちに影響を与えた国士だった。拙論「キリスト教とボランティア道—水平のく運動から、垂直のく活動」に—(同15-22頁)。

⁶⁵ 韓国語『原理講論』は統一教会の中心的文書だが、実際には劉孝元[1914-1970]劉教会長が『原理解説』、『原理講論』を1954年に完成。文鮮明と同郷の平安北道定州宣川で出生。劉は郷土が産んだ天才だった。京城帝国大学(現在のソウル大学校)に入学するものの脊椎カリエス発症で中退。文は世話する引き換えに統一原理の理論面を委ねた。文鮮明の『原理原本』を劉孝元が1953年頃『原理解説』『原理講論』へと仕上げた。釜山影島で執筆。劉なくして「原理解説」「原理講論」の成立はなかった。ペン書き自筆。全172項、本文帳面縦約280mm×横約215mm。

⁶⁶ 『週刊新潮』(2023年1月5・12日号のグラビアに画像)。フェイスブックで岩村のコメント、「岩村さんの青年時代を知る私は、彼が本物であると証言します!!!」(S兄2022年12月25日)、「今日もまた駆け巡りつつ尽くす愛」(同2023年1月9日)。
彼は宗教2世問題、解散が世間で騒がれると、組織内部でも異見を述べる。久方ぶりに岩村相手に組織について愚痴る。「この組織は、異端児を排除したがる。異論を許さぬ。それで世界が統一出来るかっ!」と怒る(同メッセンジャー2023年1月19日)。貧

人から好かれる好青年でした。公害が卒論のテーマであり、卒業後、進路は二つありました。内閣情報調査室(内調と言われる内閣直属の情報機関)か、丸ノ内の企業の選択です。彼は勤労に従事する人たちに原理を伝道する部門を選びました。彼は私に、「ある時は、肉は食べてはいけないうと、言っていたかと思えば、今度はいいんだから」とぼやきました。教会本部の方針が変わる度に私を相手に愚痴りました。それほどなんでも話し合える親しい間柄でした。昼間は港区赤坂見附の事務所、国際勝共連合の事務所で勤務でした。

松濤本部で、戦う理由があれば肉の武器を取ることも辞さない、組織、指導者、食口(韓国語シック 信仰の同労者のこと)が言い出しました。そんな背景に文教組が日本の信者を前に、悪の権化である共産主義を滅ぼすためには核も辞しないと垂れていたからです。胸の中に、ざわめき、隙間風が吹き始めました。

私が1971年8月、海外の活動から帰国すると、私の離脱を直観でS兄は悟ったらしく誘いました。千鳥ヶ淵ボート場で二人は黙ってオールをこぎました。もう会えなくなるのに、彼は何も聞きませんでした。その時、小宮山が韓国の1970年10月の777双の祝福式(結婚式)⁶⁷で、「アボジ(韓国語「父」の意。文鮮明)から相対者である韓国の食口を直接とりもっていただいた」にもかかわらず、会場からいなくなった裏話を聞かされました。当時もそうですが、結婚しても3年は夫婦は性生活の営みをもつことが禁じられています。なぜ忽然と小宮山は韓国で消えたのか、日本の食口は組織の看板である柱がいなくなりました。寂しくても口に出せない体質が見えてきました。熱狂主義の一種のいびつさをうかがい知ることができます。

小宮山は哲学者らしく平和革命を論じていました。「世界で唯一の平和憲法をもつ『平和日本』の立場と条件をもつ日本の使命は極めて重要である。……資本主義の悪の根本的カラクリは議会主義の平和的方法によりて、漸次改革され、矛盾なき社会の体制にすべきである」と。今の勝共連合と異なり、戦略を用いることなく、素直に憲法9条の価値を訴えていました⁶⁸。仏教者をもうならせる非戦論、不殺生(アヒンサー⁶⁹)、非暴力を唱える家庭で彼は育ったことも影響していたから9条の価値を認めていたと、私は推測します。

「すべての者は暴力におびえ、すべての者は死をおそれる。己が身をひきくらべて、殺してはならぬ。殺さしめてはならぬ」(『ダンマパダ』129)。釈迦の言葉(パーリ語聖典より)⁷⁰

「すべての者は暴力におびえる。すべての(生きもの)にとって生命は愛しい。己が身をひきくらべて、殺してはならぬ。殺さしめてはならぬ」(『ダンマパダ』130)。

c. 非暴力の萌芽

フィリピンのマニラの国際会議には、ウクライナの代表たちも参加していました⁷¹。久保木修巳とは台湾訪問⁷²、また、マニラの外遊も一緒に行動しました。フェルディナンド・マルコス大統領[1917-1989]表敬訪問⁷³や全体会議での久保木の補佐役を除いて、別行動になります。私は

困の極みであっても彼らが長年耐えてきたのは霊界での永生信仰である。S夫婦も荷を降ろして晩年も友として生きてほしい。祈るしかない。

⁶⁷ 1970年10月21日、統一教会の合同結婚式(777双)。岸信介がソウルで開催されたに式に祝辞を送る。会場では韓国海軍楽隊の演奏も披露された。『毎日新聞』(1970年10月22日付)。

⁶⁸ 『心情圏』(小宮山嘉一 1967年 創刊号 2-3頁)。

⁶⁹ 『わたしの非暴力1』(マハトマ・ガンディー 森本達雄訳 みすず書房 205頁)。ヒンドゥー教のアヒンサー(不殺生、非暴力)。

⁷⁰ 『ブッダの真理のことば・感興のことば』(中村元訳 岩波文庫 1991年 28頁)。

⁷¹ ウクライナ(A.B.N.Anti-bolshevik Bloc of Nations, Ukrainian Youth Association)代表としてオーストリア在住の Yaroslav Stetsko (Ukrainian: Я р о с л а в С е м е н о в и ч С т е ц ь к о; 1912-1986) prime minister of the independent Ukrainian state, head of OUN(Bandera Faction, Organization of Ukrainian Nationalists), head of the Anti-Bolshevik Bloc of Nations (ABN)とその妻 Slava Stetsuko。他に UYA の Ihor Mlynovskyj, Roman Zachariak。筆者が WYACL 議長として司会。

⁷² 1971年3月26日に台北市議会の APACL 推進の要である谷正綱[Ku Cheng-kang 1902-1993] 中華民国(台湾)の政治家。反共の世界的な闘士から歓迎された。飛行機から降りる場面が地元紙に掲載される。

⁷³ 1971年7月21-25日、WYACL 代表として、岸信介の親書を携えてマルコス大統領に接見。第5回 WACL マニラ大会には

顔なじみの青年たちの国際会議を担当します。そこでは反共の頑なな姿勢のイニシアチブをとる議長の仕事がありました⁷⁴。マルチン・ルーサー・キング⁷⁵ [1929-1968]牧師のような「非暴力」の発題がない聴衆ばかりでした。共産圏を武力で転覆する意見に一辺倒にまで偏っていました。私自身の英語力のいたらなさ、統一思想の宣教も影響し、和解など一顧だにしない片寄った議事進行の使命がありました。もっと言えば、反共か容共か、無神論か有神論か、善か悪かの二元論の世界観をパターン化するスパイラルに陥っていました。

自民党の若手議員を抑えて議長として意気揚々と乗り込んだフィリッピンのマニラの国際会議の顛末は、シナリオ通りでした。実力など微塵も持ち合わせていない実体をさらけ出しました。結局、口先だけの世界的な情熱をたぎらしていたにすぎません。国力、資金力、伝統の壁に風穴を開けるなどとうていありませんでした。こうした国際会議、海外協力、要人との面談も若者たちを育てるのではなく、組織を維持する装置にすぎないと思われられました。

当時の日本の首相は末次が黒子になって外交を推進し、ノーベル平和賞を受賞しました。佐藤栄作[1901-1975]⁷⁶です。自民党は基本的に総裁選挙を避ける体質があります。民主主義ならば、選挙で多数決によって総裁を決めるべきにもかかわらず、総裁「選び」という手法をとります。選挙ですと、多数派工作、買収、引き抜きの後遺症によって怨念が残るからです。

「和」を尊ぶ表向きの遣り口は怨念を引きずらず、丸く収まるという慣習があります。そのような日本人の腹芸のように物事を決める価値観に対して、『原理講論』は統一、包括、戦略思考によって、頂上からイデオロギーに基づいて支配する理論です。論敵に歩み寄る寛容さは微塵も察知されないように肺腑に沁ませて、私は国際会議に臨みました。統一協会は笹川良一⁷⁷をマニラに派遣し、自分達の持ち込んだ青写真通りに反共陣営の中核に陣取ろうとしました。国際舞台では、日本独特の自分達に有利な根回しという方法と異なります。統一原理の「二性性相」の弁証法によって、主導権を掌握します⁷⁸。「支配者たちの貪欲さを利用して悪において増長し、市民たちに対して陰謀を働く者となった」と陰謀をはりめぐらす文教組の手法は巧妙です(Ⅱ マカバイ 4:50)⁷⁹。米国、韓国、台湾との強力なネットワークも戦術として有利でした。統一協会は資金力もあり、反共陣営の参加者に友好的に働きかけ、昼間の会議だけでなく、夜のレセプションでもイニシアチブをとりました。現地の政・官・財・学やマスコミの交渉を抜け目なく展開しました。特に首脳級に対しては、金銭を含めてあらゆる攻勢をかけて味方に引きずり込みました。ローマ・カトリック教会の枢機卿、大司教クラス、キリスト教系大学の学長たちからの支持も得ます。なぜ社会的に地位、名声、清廉潔白とされているエクスーシア(権威)に浸透するのでしょうか。私は、統一協会の教えの基本、人間のしあわせが何に基づくのかの教義にあると証言します。幸福は、目標が達成されたらとか人によ

70 カ国、30 国際組織の約 300 人が参加。

⁷⁴ 拙論「宗教はコロナウイルス後の社会をどう目指すか—第 3 章」(WCRP 平和大学講座 2022 年 3 月 10 日)。

⁷⁵ キング牧師がテネシー州メンフィスのロレイン・モーテルのバルコニー暗殺された日、1968 年 4 月 4 日午後 18 時 15 分、全米は戒厳令が敷かれたようになりをひそめた。パートで務めていた Jimmy Wong's Restaurant [1914-2001 located at 426 S Wabash Ave in Chicago]の友が外に絶対出ないように私に忠告した。だが、私はキング牧師を殺した白人ではないから逗留宿舎 830 Avenue Hotel からレストランに無謀にも向かった。結局、休みであった。

⁷⁶ 1964 年から 1972 年まで内閣総理大臣(1964 年～1972 年)。日韓基本条約批准、非核三原則提唱、沖縄返還。1974 年にノーベル平和賞を受賞。岸信介の弟。

⁷⁷ 本稿 7 ページの脚注 33 を参照。

⁷⁸ 国際捕鯨委員会からの脱退、石炭火力発電所についてグテーレス国連事務総長から『石炭中毒』だとか、再生可能エネルギーよりも原子力の再稼働に傾きすぎると国際舞台から批判されている。世界は日本的な怨念を避ける根回しではなく、明確な論議を求めている。

⁷⁹ 「一方、メネラオスはその職に居座って、支配者たちの貪欲さを利用して悪において増長し、市民たちに対して陰謀を働く者となった」。「マカベア第二書 6・4 によれば、(エルサレムが)ゼウスの聖所と化した神殿の中には商売女と遊ぶ場所がつくられます。…このような場所をつくることは、祭司たちの日常的な営み」『マカベア戦記④』(秦剛平 京都大学学術出版会 2015 年 46-47 頁)。

て価値観が異なります。統一協会の場合、「自己の欲望⁸⁰が満たされるとき、幸福を感じるのである」という価値基準があります。ですからどんな人間をも味方にたぐり寄せる手段として「欲望」という定見を用います。まさに聖書の述べる通りです。「人はそれぞれ、自分の欲望に引かれ、おびき寄せられて、誘惑されるのです」(ヤコブ 1:14)。

日本の食口が 24 時間不眠不休による万物復帰の資金調達に明け暮れています。「恨」⁸¹に基づく教組の世界統一の野望の捨て駒です。1970 年の前年度も、5、6 人が 2 トン軽トラックに車中泊しながら全国津浦浦にカーネーションを売りました。キャラバンで万物復帰という名目で全額を献げています。私は本部で、日の当たる道でした。ある時、国際勝共連合の国際部長をはじめ、幹部も一切理由なしに、上意下達のように罷免されました。万物復帰部門に転属させられました。忠実さを試す約半年間だったと今ではわかります。元本部のメンバーだけ、急遽、東京に戻されました。WACL 世界大会⁸²の武道館で、日本代表 10 人ほどの列にいた私は聴衆に歓呼され入場しました。キャラバンで東北から北海道へと寝食を共にしたメンバーが目ざとく見つけ、涙を流して喜んでくれました。一方、彼らは生涯、豪勢なごちそうを口にする事のないボロ雑巾です。ですからぜいたくの限りを尽くしたディナーを前にして躊躇します。そのことを考えると清濁合わせ呑むレセプションの政治家、団体指導者、学者たちと酒を酌み交わせず、一蓮托生になりきれないのです。神から受けた生素がなじめないのです。

欧米人の巧みなディベート、国際会議のベテラン、早口の学者、政治家たちと人類歴史の闘争、歴史観、アイデンティティの相違の渦の中心にあつて筆者は狼狽しました。みんなを統一するために遣わされている逸り気、小生意気、小賢しさであせています。キリスト教を一つにし、思想を一つにし、地上天国を築くという「高慢」さを秘めていました(Ⅱコリント 12:20)。休憩時間になると、正戦論、聖戦論に打ちのめされた孤独なピエロがいました。なぜなら文教組の斥候という使命感だけの虚勢を張っているにすぎないからです。非戦の小宮山ならどうするか、「“目には目を”は全世界を盲目にしているのだ」⁸³(マハトマ・ガンディー⁸⁴ [1869-1948]) を迅速に引用できるだろうか、としないにもかかわらず話しかけています。彼の仏教知識の宝庫に比べ、私と言え、巨大なレビヤタン⁸⁵に抗うには逆立ちをしても知恵、知性、武具の駒不足です。ただ肩書だけで勝負しています。己れの力不足、辛酸をなめました。

恩師末次の元を離れて、家族、教会から離反しました。天勝塾に移ってからというもの、の原理一直線に突っ走ってきました。世界を統治するのにふさわしい人物はだれか。すでにキング牧師、ガンディー、ディートリッヒ・ボンヘッフアー⁸⁶[1906-1945]はこの世にいません。残りの選択肢はアボジ文鮮明しかいないではないかと自分を掻き立てようとはしますが、着火しません。私が信じるのは、文鮮明かキリスト教かという、答えは明白でした。キリスト教 No でした。しかし、アメリカ、韓国、台湾からの会議の出席者はクリスチャンが占めています。それも

⁸⁰ 『原理講論』(世界基督教統一神霊協会 光言社 1968 年 21 頁)。

⁸¹ 自分の内部に沈殿して積もる情の塊であり、恨は自分自身の欲望が何かの挫折にあつたときに生じる実現されなかった夢であり、怨恨とは異なる。『韓国人の心—恨の文化論』(イー・オリオン 裴康煥訳 学生社 1982 年 267 頁)。長州藩騎兵隊出身の寺内正毅[まさたけ 1852-1919]が 36 年間[1910-1946]、朝鮮半島を植民地化した初代総督。「朝鮮総督府」(司法・行政・立法を統治)の三権を新設、「国を失い、民族を失った恨」を胸に秘めた文鮮明は日本人が作り上げた政治・宗教・思想テロリストと、岩村義雄は確信している。『真の御父母様の生涯路程 1—文鮮明先生御言精選—真のお父様の誕生と内的準備』(韓国歴史編纂委員会 光言社 2000 年 250-281 頁)。

⁸² 1970 年 9 月 20 日、世界反共連盟 (World Anti-Communist League 略称 WACL) 世界大会を武道館で開催。2 万 5 千人動員。岩村は WYACL (the World Youth Anti-Communist League) 議長 [1970-1971]。

⁸³ An eye for an eye will make us all blind.

⁸⁴ 拙論「宗教はコロナウイルス後の社会をどう目指すか」第 2 章 (WCRP 平和大学講座 2022 年 7 頁)。

⁸⁵ 聖書に出てくる権力がある怪物。拙論「レビヤタンの正体(1)~(3)」(神戸国際キリスト教会 2020 年)。

⁸⁶ 「宗教はコロナウイルス後の社会をどう目指すか」第 3 章 (同 22 頁)。

徹底した反共クリスチャンでした。欧州、南米などの参加者はローマ・カトリック教会、正教会の反共一色という具合です。キリスト教は文鮮明と本来同盟を結べないはずなのに呉越同舟⁸⁷で同じテーブルについています。聖書解釈、終末論、キリスト論が背理していても、反共の共同幻想なら共闘します。反共の目的のために無批判に協力し合います。

政治の理想、イデオロギーの差異、聖書解釈が異なっても結束します。いずれもが共産陣営への戦争、紛争、武力行使によって平和が実現すると確信しています。他方、キリストの言葉はいつも私を責めました。「しかし、わたしは言うておく。悪人に手向かってはならない。だれかがあなたの右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい」(マタイ 5:39)という言葉がまわりついて離れません。キリスト教と統一原理双方とも信仰を第一にしています。ルター派の牧師の息子であった哲学者フリードリヒ・ヴィルヘルム・ニーチェ[1844-1900]は44歳の時に書きました。「正直にものごとを考えることは、つまり、自分の心に対してウソをつかないということ、そして『美しい感情』なんかに流されることなく、自分の判断に良心を持つことです。『信仰によって幸福になる』なんて大ウソを信じてはいけません」⁸⁸、と。

人を救うはずの宗教が敵を粉砕する行為を決議することが全人類のしあわせになるという。反論を封じる千篇一律で押し切ろうとしています。しかし、統一協会で体得している体質があります。意見の不揃いでは物事は進展しないと己れに言い聞かせ、腹に呑み込みました。1969年、東ベルリンからモスクワ鉄道のナホトカ経由で日本に帰る車中でソ連の人々と過ごしたことは忘れられません⁸⁹。かれらもニンゲンでした。にもかかわらずマニラ会議では司会⁹⁰をしながら飲まれて高揚し、共産主義を非難する自分がいました。

日本のキリスト者の中で世界的に知られている内村鑑三[1861-1930]は著書の中で、イスラエルと関係のない民族は淘汰しています⁹¹。アラブの地からパレスチナ人を追いだし、預言の成就として「約束の地」にユダヤ国家の出現を待望しました。イスラエルの併呑という事実を見えなくしてしまっています。ガンディーはイスラエルの国家建設を人道に対する犯罪と糾弾しています⁹²。そうした扞格があれども、筆者は人間の責任分担⁹³である5パーセントによって共産主義は悪だと断罪していました。コミュニズム打破のイデオロギー⁹⁴に不同意というような政治家、学者、メディア関係者はゼロでした。先導された反共主義者の教条主義によっておどろおどろしい決着がつけられました。イエスですらできなかった人類に対する責任を果たしたという自己満足の風が瞬間風速のように吹き抜けました。ところが、会場のカメラマン、食堂のウエイトレス、フロントの人たちは、コスモロジー⁹⁵の日々の生活で喜怒哀楽を

⁸⁷ 春秋時代[紀元前771-紀元前476] 敵同士であった呉と越の2カ国は仲が悪く、同じ舟に乗り合わせた。暴風に襲われて舟が転覆しそうになったときには互いに助け合った。『孫子』。

⁸⁸ 『キリスト教は邪教です』(F.W.ニーチェ 講談社 2008年 125頁)。

⁸⁹ 「宗教はコロナウイルス後の社会をどう目指すか」第3章(同 20頁)。

⁹⁰ 画像参照。「宗教はコロナウイルス後の社会をどう目指すか」第3章(WCRP 平和大学講座 2022年 19頁)。

⁹¹ 「パレスチナ回復の時の近づきを知って一層再臨の信仰を堅くせざるを得ない」『内村鑑三全集④』(内村鑑三 岩波書店 1982年 248頁)。

⁹² 「ユダヤ人にもどすことができるようにと、誇り高いアラブ人を従わせるのは、人道にもとる罪悪といえよう」。拙論「宗教はコロナウイルス後の社会をどう目指すか」第2章(WCRP 平和大学講座 2022年 7頁)。

⁹³ 「み旨成就是、どこまでも相対的であるので、神がなざる95%の責任分担に、その中心人物が担当すべき5%が責任分担が加担されて、はじめて完成されるように予定されるのである」『原理講論』同 243頁)。神の救いの摂理が遅延してきたのは歴史の中心人物たちが常に責任分担失敗を繰り返してきた。『原理講論』同 80頁)。

⁹⁴ 歴史的・政治的な自分の立場によって構築された考え方を思想的に代弁する指導者。

⁹⁵ 二性相の陰陽対立の本義は先鋭化したイデオロギーの追究である。しかし、「空間」の悠久なる永遠性を観るには、原理ではない。エレミト eremit 隠修者(単独者 神の前にひとり立つ)が神を觀照[Vision (Contemplation) of God]しようとする。つまり決して偉い人ではない。人に認められなくてもいい。ほめられなくてもいい。宇宙觀コスモロジーに波動を合わせる。西行[1118-1190]、アッジジのフランチェスコ[1182-1226]、松尾芭蕉[1644-1694]が散策したように。

過ごしています。筆者は、庶民感覚から遊離した反共決議にもちこんだモヤモヤ感のため、有頂天になれません。内心、マニラから海の向こうの日本まで泳いで、逃げ帰りたくなりました。戦争を神は是認されるはずがない大義をみんな忘却しています。マニラの会議の一義的、圧倒的、満場一致による最終決定を導いた神は正義だろうか、と疑念が生じました。「彼らはそこで叫ぶが人の高慢を前にして、神は答えない」(ヨブ 35:12)と神からの是認もありません。

フィリッピンへの帰途、英字新聞“Unified World”⁹⁶の記事取材のため、南ベトナムの会議⁹⁷に単身代理として出席するように久保木に言われました。生涯出会った人の中で、聴衆を笑わせ、泣かせる名スピーチをするのは久保木が突出しています。月とすっぽんの差である私にサイゴンに行けといわれます。「できません」と答えたくても、組織で行動するようにマインドコントロールされています。金縛りに合ったように「行かせていただきます」とイエスマンでした。

現在の統一協会は世界平和統一家庭連合と称します。そして真の父母様に崇敬の念を朝から晩まで、信じた時点から、死後の霊界に至るまで、「家父長」権威主義に縛られます。ですから信仰と文鮮明・韓鶴子夫婦に従うことを同一視します。エバ国家と言われる日本で教組の国韓国より日本は熱心です。儒教の文化的要素、つまり「家」、「家訓」、「創立者」に盲従する家父長制度(patriarchy)的、封建的、植民地支配的な思惟が寄与しています。岸信介、安倍晋太郎、安倍晋三にイエスマンが多いのもパターンリズム⁹⁸があるからです。

現地では冷や汗をかきながらレセプションをやりすごしました。17度線までサイゴンからヘリコプターで訪問しました。そこでベトコンとの戦いに疲労している米軍の最強グリーンベレー部隊を慰問しました。生来楽天的なアメリカ人らしい笑顔がいびつでした。顔はどす黒く、疲労、恐怖のため地獄のどん底にいるようでした⁹⁹。最前線で「暴力」がもたらす不幸、家族分断、悲劇を目の当たりにしました。無力感、理想と戦場の地獄のギャップの隔絶に統一原理に対するゆらぎが生じ始めました。暴力に潜む薄気味悪い冷淡さに怖じけました。

非暴力は、利己主義か利他主義¹⁰⁰かという観点では論じられません。利己主義も利他主義とともに個人主義を前提とした概念です¹⁰¹。無関心な層は非暴力に対して、横を向きます。

統一協会の愛する仲間たちがいるにもかかわらず、燃え尽き症候群(バーンアウト症候群)に陥ります。空虚感が広がります。なぜなら統一原理のイデオロギーは、切り捨てることに力点がおかれているからです。イデオロギーによる悪、邪、陰を排除することによって「宇宙復帰」を行なおうとします。するとイデオロギーの推進者である己れは、あくまでも義となります。「宇宙復帰」がコスモロジーのようにすべてのもの、動物、植物、鉱物を包含していないのです。マニラの宿舎のベッド脇に聖書がありました。「あなたは、年が若いからといって、誰からも軽んじられてはなりません。むしろ、言葉、振る舞い、愛、信仰、純潔の点で、信じる人々の模範と

⁹⁶ 勝共連合の最初の英字新聞。1970年11月30日第一号。発行元 WYACL 東京都港区赤坂松平ビル8階。

⁹⁷ 反共のファン・フイクアト[Phan Huy Quát 1908-1979] 南ベトナム共和国首相に招かれる。

⁹⁸ ギリシャ語 パテール<父の意>から由来。パターンリズム(家父長制的な権威主義)。「神の命令が人類の真ノの父母を通して、すべての子女達に伝達されることにより、みな一つの目的に向かって動じ静ずるようになる」『原理講論』(69頁)。

⁹⁹ 映画俳優マーロン・ブランドが演じる元グリーンベレー隊長のウォルター・E・カーツ大佐がジャングルに逃げ込み、王国を築く。1979年の『地獄の黙示録』の映画の陰湿なシーン、狂気のカーツを生み出す背景を思わず彷彿させる。

¹⁰⁰ 拙論「キリスト教とボランティア道」(第26回宗教者災害支援連絡会 東京大学2016年28頁)、『利他主義と宗教』(稲場圭信 弘文堂2011年44頁)。心理学では「愛他主義」という言葉を用いるが、同じ意味である。動物行動学や遺伝子研究などの分野でも「利他主義」の語が使用されている。コトが、エゴイズム(egoism:利己主義)に對置させてアルトルイズムという語を定義したことからも、日本語では、「利己」に対して「利他」、利他主義の方が愛他主義よりも用語としては適切であろう。ボランティアにはチャリティが必要だから、「利他」ではなく、「他己」と岩村は述べる。

¹⁰¹ 『仏教一調和と平和を求めて』(ヨハン・ガルトゥング 高村忠成訳 東洋哲学研究所1991年39頁)。利己主義では、他人を犠牲にすることで、自分自身の利益を最大限にしようとする個人が前提とされている。一方、利他主義は、自分自身を犠牲にしても、他人の利益を最大に養護しようとする個人が前提とされている。

なりなさい」の言葉の実践ができない状態でした(I テモテ 4:12)。過密スケジュールのため、自分をじっくり見つめる時間ありません。帰国したら、聖書を読み直さなければと迫られました。統一原理では「蕩滅条件」¹⁰²を立てなければ現状へと復帰できないと教えます。そんな「恨」を償う原理の教理を私は小黒板を用いて力説していたのです。

フィリピン滞在中、夜独りで出歩かないように主催者側から釘を差されていました。戦時中の日本軍に対する恨みがあるからと聞かされました。

しかし、フィリピン国民 111 万人が殺害や性暴力で犠牲になったにもかかわらず日本人を温かく迎え入れてくれました。条件つきではなく、キリスト教の無条件の「愛」、「赦し」、「恩寵」について目から鱗でした。統一原理とフィリピンの対日感情には大きな差がありました。



伝道する中央は筆者



フィリピンの報告記事。『国際勝共新聞』(1971年8月)。

蕩滅ではない無条件の愛。帰国するやいなや、霊的なふる里である聖イグナチオ教会の前にある芝生に立っていました。ノスタルジアを満ちたすくすんだおごそかな旧礼拝堂、ミサに久しぶりに出席し、友に会いました。あのホイヴェルス神父は恍惚の人になっていました。ひとりで教会の周囲を徘徊し、何かをつぶやいておられ、あいさつもできない有り様でした。自分は激しい活動から身を引いて神父のような晩年を迎えるにちがいないと予期しました。

やがて CLC¹⁰³の活動を通じて、ローマ・カトリック教会内のほころびが見えてきました。キリスト教の History を等閑視することはできない自分がいます。万博に東京から連れて行ってもらったダニエル・ライオンズ司祭をはじめ恩義がある信仰の先達者たちがいます。すんなりと受容できない奇骨精神が温存していました。特に兵戈、流血、十字軍など喉に刺さった小骨のようなわだかまりが解消できないのです。このイエズス会も中世時代、ユグノー¹⁰⁴、三十年戦争¹⁰⁵、世界大戦、ナチズム、良い木の実がなかったのではないかと。とりわけ、ローマ・カトリック教会の

¹⁰² 『原理講論』 同 272-274 頁。

¹⁰³ CLC (クリスチャン・ライフ・コミュニティ)は、スペイン・バスク出身イエズス会の創始者イグナチオ・デ・ロヨラ[1491-1556]の著書『霊操』を源泉として、祈りと分かち合いによって、カトリック教会信者としての生活を整え、教会と社会に奉仕しようとする信徒の団体。ロヨラは、ローマ・カトリック教会のイエズス会の初代総長。彼の影響はイエズス会にとどまらず、以後のカトリック教会全体にまで及ぶ。1971年当時、イグナチオ教会の CLC では、ティヤール・ド・シャルダン[1881-1955]著『ある未来の座標』、ピエール・アドネス著『カトリック神学』などを私に研究発表が回った時、同調圧力を味わった。

¹⁰⁴ 「ユグノー戦争」(1562-1598 仏 guerres de Religion) フランス国内を二分する旧教(ローマ・カトリック)と新教(カルヴァン派)の宗教戦争(Religious War)。死者 3 千人の多くがローマ・カトリックにより虐殺されたユグノー(仏 Huguenot カルヴァン主義)。

¹⁰⁵ 1618~48年、カトリック強制によるペーメンの反乱、800 万人以上が死ぬ。カトリック vs プロテスタントからハプスブルク家 vs ブルボン家、ウェストファリア条約(1648年)後に、主権国家という概念が登場する。

アイルランド¹⁰⁶と英国の戦争の死傷者のニュースを聞くと内心穏やかではありませんでした。歴史上のキリスト教会を弁護できません。赤門をくぐって東大で論争した学生たちは私に向かって、キリスト教は偽善とののしっていました。人類の悪の確信犯はキリスト教だと。勝共理論で武装するようになると、唯物史観の無神論者の無知と侮っていました。だが、「今の自分は果たして、論理的に彼らを説得できるだろうか」と気持ちがおこり心が折れました。心の中では揺れの振幅があり、表面は反共、内面は暴力否定の対立が芽生えていました。

ベトナムの戦場の残像¹⁰⁷がしばしば追体験します。表面では司祭には役者¹⁰⁸を演じます。「あなたがたも聞いているとおり、『隣人を愛し、敵を憎め』と言われている。しかし、私は言うておく。敵を愛し、迫害する者のために祈りなさい。天におられるあなたがたの父の子となるためである。父は、悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからである」と、自分の精神と肉体が分離しているのです(マタイ 5:43-45)。敵を愛するどころか、敵を排除するパン種が発酵している自己に嫌気が差します。1972年、敬愛するカンガス神父のすすめもあり、妻並川カヨ子と出会います。小宮山はどこへ行ったんだろう、とひとときも忘れることができない気がかりもありました。カトリック教会に通い出し、信頼する友を置いて統一協会から離れたものの内に潜む高慢、イスカリオテ・ユダは温存されたままでした。「彼らの身に起こっていることは、『犬は自分の吐いたものに戻る』とか、『豚は身を洗って、また泥の中を転がる』とかいう、ことわざのとおりです」にあるように、自分はカインの末裔か、それとも裏切り者なのか、俺は豚なのかと自分を責めながらも嫌なことは忘れようと東京の地をあとにしました(Ⅱペトロ 2:22)。神戸での新しい生活が始まります。



文鮮明の無罪を訴えてデモ行進する平和アカデミー 1984年6月3日

横断幕を持つのは、左から佐々木保雄(北大名誉教授・日韓トンネル研究会会長)、福田信之(筑波大学学長)、松下正寿(立教大学総長、世界平和教授アカデミー会長、参議院議員)、中村信一牧師、助野健太郎(カトリック・聖心女子大学名誉教授、キリスト教史学)。

¹⁰⁶ 妻カヨ子が『公共要理』(現『カトリック教会のカテキズム』カトリック中央協議会 2002年発行)を勉強したのは奈良県下田教会のアイルランド出身のルニ司祭。

¹⁰⁷ 1972年8月26日のニューヨークタイムズ、ワシントンポストなどの一面に報道写真家一ノ瀬泰造[1947-1973]の一枚の写真が歴史を変えたことを比較すると岩村は負け犬であった。『地雷を踏んだらサウナラ』(一ノ瀬泰造 講談社文庫 1985年 166頁)。

¹⁰⁸ 宝塚歌劇の男役は自分が女性であることを完全に忘れて演技する。まったく別人になるようにペルソナ(仮面)をつける。

第2次限

(1) 繰り返される遍歴

a. エホバの証人との出会い

主題聖句:「すべての手紙と同じように、彼も、これらのことについて述べています。彼の手紙には分かりにくい所があって、無学な人や心の定まらない人は、それをほかの書物と同じように曲解し、自分の滅びを招いています」(Ⅱペテロ 3:16)。

神戸は、約154万人の人口を擁する港湾都市です。奈良県香芝市下田カトリック教会で受洗目指して、仏教徒だった並川カヨ子は「公教要理」¹⁰⁹をアイルランド出身のルニ神父と学び、洗礼を受けるのにふさわしいと判断されました。神戸市垂水区のカトリック教会で受洗し、結婚式をあげました。新しい生活を支えるために、神戸市中央区栄町の外資系の船舶会社イースタン SHIPPING に勤務しました。東京、海外での熾烈な活動からの転地療養のように、六甲山、須磨から舞子の海岸、淡路島が見える地で敗残兵よろしく、傷が癒えるのを待つ日々でした。真正の真理を求道することも忘れ、船会社の仕事に魅力を感じるようになっていました。小さなタンカーのチャーターを任されたときは、有頂天になり、三宮の貨物船が発着する岸壁で船を恋人のようにいとおしく仕事に朝から晩遅くまで邁進します。

しかし、テルアビブ空港乱射事件、第1次オイルショック、金大中事件、連続企業爆破事件等の爆弾事件や猟銃強奪事件などを聞くにつけ、内心穏やかではられません。夜、まんじりともできず、理由を問う妻に言うと、「あなたひとりがいくら心配してもよくなるいんだから」、とたしなめられることがしばしば続きました。

末次一郎が次から次へと貧しい国へ挑戦する姿を模範として16歳から感化を受け、追隨してきました。ワークキャンプ¹¹⁰に最年少の高校生で参加しました。猛暑の下、木の根っこを掘り起こす激務に汗を流しました。夜はテントの外の灯りにくる蛾をはたいたら、翌朝ボクサーみたいな顔にはれ上がっていました。夕食後のディスカッションで、労働運動家から、「坊やにはわからん」と言われたことに無性に腹が立ちました。その夜、下唇を噛みながら¹¹¹、レポートで一寸の虫にも五分の魂と反論しました。労働運動の大人に対しても不遜でした(シラ 4:29)。それからは会合に参加する際は、スーツにネクタイでした。聖書が教える「衣服を着飾ったりするような外面的なものではなく」とはちがう浅はかな考えでした(I ペトロ 3:3)。1951年に末次により、「官製」的組織・運動として、「青团連(青少年団体連絡協議会加盟団体)」が創設されました。当初、反共陣営でつくられたベルギーのブリュッセルに本部があるWAY¹¹²の活動参加に対する関心を抱きながら、沖縄返還に専念する末次の国際会議¹¹³の裏方として奉仕しました。報告の作文も完膚無きほどに訂正されました。厳しく育てられました。

¹⁰⁹ 問答形式、すなわち教理問答「要理書」は1529年マルティン・ルターが作成。カトリック教会も世界宣教のために作成。たとえば、日本でも布教に『どちりなきりしたん』を用いた。1591年に長崎県の島原半島の加津佐町(かづさまち)で発刊。「どちりいな」とはポルトガル語で「教義」の意。である。「どちりいな・きりしたん」『長崎版どちりなきりしたん』(海老沢有道 岩波文庫 1950年)。

¹¹⁰ 1966年7月19-25日、福島県磐梯でテントを張り、全国青年学生合同ワークキャンプに参加。登山家、無機化学者である西堀栄三郎[1903-1989]初代南極越冬隊長の生き方はその後の筆者の生き方に影響を及ぼした。

¹¹¹ 拙論「キリスト教とボランティア道」—水平の〈運動〉から、垂直の〈活動〉に—(宗援連 東京大学 20頁)。

¹¹² 第6回世界青年会議(World Assembly of Youth)が1966年8月11日から10日間、東京プリンスホテル国際会議場で開かれた。末次一郎は副委員長として海外からの約400名、国内150名を日本健青会が組織だった運営を担う。

¹¹³ 「沖縄およびアジアに関する日米京都会議」は1966年1月28日から4日間、国立京都国際会館で開かれた。

そのことが中学、高校と英語はひどい成績であったにもかかわらず、WYACL (the World Youth Anti-Communist League 世界青年反共連盟)議長[1970-1971]に指名される大きな要因につながりました。しかし、末次にはない *charity* が変節への動機となります¹¹⁴。

次に、祖母ミキの時代からの母教会のローマ・カトリック教会からなぜ出たのか。3代にわたって、晩年の父親の受洗を除いて、ほとんどみなローマ・カトリック教会信者です。聖イグナチオ教会は私たちの親族にとり、心の家でした。「主の家に植えられ我らの神の庭で茂る」(詩編 92:14)。人生の中で伴侶と聖イグナチオ教会で結ばれる縁ができ、やがて結婚という秘蹟を受けるようになるのも家の宗教だったからです。そんな二人が揃って、教会と離縁し、エホバの証人に変節しました。イエスと教会は夫と妻のような関係です。「夫たちよ、キリストが教会を愛し、教会のためにご自分をお与えになったように、妻を愛しなさい」の関係を断ち切らせたものは何だったのでしょうか(エフェソス 5:25)。

天勝塾にいる時、末日聖徒イエスキリスト教会東京伝道本部の礼拝に出席。1968年4月以降、国際勝共連合の本部事務所は赤坂見附の赤坂松平ビル 801号室にありました。1970年、最上階のビル管理人室は創価学会の座談会があったため定期的に出席していました。生長の家をはじめ、道場破りよろしく、諸宗教の総本山、本部に潜入していました。

世界最大の宗教団体はローマ・カトリック教会です。約13億人です。日本でも、キリスト者信者数の約半数を占めています。しかし、教会で平和と唱えながら、飢餓、貧困、戦争の危険性は減少するどころか、解決の見込みは皆無でした。国連憲章も死文化しており、戦争、紛争、諸問題の決定的な局面は打開できていません。膿が噴き出るように地球いたる所にうめき声が満ちています。人類が絶滅するシナリオを専門家が警鐘していました。

恩師や自教会には望みは見いだせません。サラリーマン生活の傍ら、「これから世界に起こることを予感し、恐怖のあまり気を失」なわんばかりでした(ルカ 21:26)。

b. 入信への経緯

第2時限の主題聖句は筆者について心情の中心をえぐるように述べています。「心の定まらない人は、それをほかの書物と同じように曲解し、自分の滅びを招いています」(IIペトロ 3:16)。筆者はまさに「心の定まらず」**ἀσθήρικτος** アステーリクトス *asteriktos*¹¹⁵ 蝶が花から花へとひらひらと蜜を求めているかのような無軌道な青春時代を送っていました。通り、学園、公園で人が聞こうが聞かまいが小黒板を用い自説を訴えていました。霊的な故郷に戻っても激しいパトスの回転が完全に停止せずにセルモーターが空回りしているかのようにくすぶっていました。回心を満足させませんでした。聖書を「曲解する」(**στρεβλόω** ステレブロウスイ *streblousin*) ことに増長していた世界から抜け出て、静かなミサに出席しても場違いを認めません。

1975年、26才の時でした。そんな内面のエポックを発散するために、戸別訪問してきたまだ入信したばかりのエホバの証人にまたぞろ挑戦しました。

¹¹⁴ 母無畏子かほ [1921-1992]は、白百合学園で身についた校風や、思春期の15歳に献堂された麹町教会[現在聖イグナチオ教会]で培った施しの精神が旺盛でした。幼稚園から帰ってくると、近所の「乞食」、傷痍軍人、困窮している人々にソッと百円札を手渡している姿を何度も見かけました。子ども心に「自分たちがひもじいのに、どうして」とわだかまりがありました。そんな母は偉大に思えました。思春期から成人するまで一番影響を受けた末次一郎にはなかったキリスト教の *charity* 面です。拙論「キリスト教とボランティア道」(同14頁)。

¹¹⁵ アステーリクトス < α + **στηρίζω** 「堅く立っている」は、**στηρίζω** ステરીゾー *sterizo* 「与えられた真理に堅く立っている」の否定形 (IIペトロ 1:12『新改訳2017』)。

『クリスチャン新聞』(1989年3月～12月)は、連載で筆者の無軌道ぶりを報道しています。「最初は宗教活動とは思わず、セールスマンのように感じた」。「エホバの証人の問題がまだあまり社会的に騒がれていない時代で、知識がなかったこともあります。カトリックはすべての思想を包み込めると思っていたので、警戒心はありませんでした。不用意にイエズス会の立場からかわいそうな人たちを目覚めさせてあげようと訪問を受け入れ、ミイラ捕りがミイラになってしまったのです」。4ヵ月という短期間のうちに証人に仕立て上げたのは、「聖書からすべてを答えていこうとする姿勢」でした。毎週1回証人の司会者(聖書研究の個人的導き手)は、質問すると聖書から答えを探そうとして5分ぐらいでもずっと『文語訳聖書』(『新世界訳』日本語版は1982年に完成)を繰っていました。そして見つからないときは、『神のご意志だったら、あなたにもわかるでしょう』と。

やがてエホバの証人とのマンツーマンの学びは、朝9時から夕方4時ごろまでマラソン研究になり、回数は増えていきます。「カトリックでは極端な言い方をすれば、聖書はどうでもいいのです。聖書は最終権威ではなく、ローマ教皇＝パパさまが不謬^{ふびゅう}の権威です。人気アイドルを寄せつけない、崇拝されている存在です。神父やシスターたちとの心情的なパイプラインが強いので、最後にはそうした感情的交わりを断つことは難しかったのですが、結局ものみの塔が戦争と病気と貧困という問題を解決できるテーゼを、聖書からはっきり説明できることに魅力を感じたのです。聖書は真理であり、みことばを正しく理解し実践しているのは、エホバの証人しかいないと思うようになりました」。

どんな人々がエホバの証人になりやすいか

1970年代前半、日本の元全共闘世代は理想社会の建設という政治的な希望をもちながら、現実の政治の壁を改革できない挫折感に浸っていました。浅間山荘事件、ハイジャック、イスラエルのテルアビブ無差別テロなども回転するコマが止まる直前に最後のあがきのように識者の見物の具と化していました。「日本革命」という70年安保の激しい闘争が終焉を迎えました。学園紛争時の右、左の闘士は櫛の歯が抜けるように脱落しました。唯物思想の革命の闘士たちは、有神論のキリスト教には本質的になじめませんでした。エネルギーに戸別訪問するエホバの証人を宗教家のたわごととして「地上の楽園における千年王国」を一笑に付していました。しかし、行くあてのない活動家にとり、体制に迎合しないものみの塔の平和観を客観的にみつめるようになります。現世を否定するテーマに共感を覚える者が出てくるのも不思議ではありませんでした。

暴力による日本、世界革命の理論が終焉を遂げようとしていました。攻撃的行為が徒労に帰しました。不完全燃焼を埋める機能の必要がありました。新たなドナーの役割がものみの塔聖書冊子協会のもつ組織の連帯感、世界的な普遍性、内ゲバなどの殺りくを否定する新しい倫理感(ethics)でした。世界的な情熱を燃焼させるための一つの代替手段として、神による「千年王国」を検証する価値を発見したのです。無神論であったにもかかわらず喪失感に気力を与え、生涯を何にチャレンジするかということに対して、はっきり具現化する方法を示したのです。エホバの証人の長老(キリスト教会の牧師、司祭に相当)になった人々の中には、現世への絶望、終末思想、末法思想が心情の中心に食い込んだのです。元勝共連合の闘士、挫折した左翼学生・活動家の双方が吸引されました。目立った働きをする場が与えられたのです。ものみの塔は、そうした、イデオロギーが相反する立場の人々でもスクラムを組んで団結させる、没個性集団、と形容できるでしょう。

アメリカでは、エホバの証人の60パーセントが元ローマ・カトリック教会信者ということもしばしば耳にしました。宗教に距離をおく日本では、エホバの証人の特異性がカルト集団として、

取り沙汰されています。宗教二世の訴え、せっかんは暴力です。「ムチ」については関西学院大学商学部¹¹⁶で詳述しました。本稿は弁証学ですから、ものみの塔聖書冊子協会の「信条」、「教理」、「聖書観」はどんな問題を内包しているのかを論証します。

筆者自身が異端街道を歩んだゆえに事実¹¹⁷をつまびらかにする責任があると自負しています。窮極のオアシス、いこいの場はいずこに。宗教遍歴は既成のメインストリームであるキリスト教界からは白い目でずっと見られてきました。普遍宗教である4世紀頃に地中海沿岸にできたキリスト教、とりわけ初代教父アウグスティヌス[354-430]たちによってできた「キリスト教」¹¹⁸（ギリシャ語 Χριστιανισμός クリステアニスモス *christianismos* 聖書にない言葉）は、優先的平和論により、流血の罪があることは否定できません。

一方、『千年期黎明』を唱導する米国生まれのキリスト教系のエホバの証人は、第二次世界大戦頃には非武装を唱えるようになっていました¹¹⁹。万博会場などで開かれた地域大会には、元原研のメンバーたちが指導者としていきいきと会衆を牧羊し、伝道に積極的に仕えているのを見出し、驚きを禁じえませんでした。ものみの塔は仲間のメンバーの過去、出身、国籍など頓着しなければ、詮索もしません。それまでの熾烈な万物復帰（資金調達）、短い睡眠、自分の時間がもてなかった者にとり、転会后、安堵しているオアシス感に在るかのようには映りました。神はこんな終着駅を用意されていたのか、と妙でした。しかし、その宗教組織も楽園ではなかったのです。証人と証人の間には温かさがあります。組織の外の人には伝道する対象にしか映りません。いわば狭量な選民思想が根底にあります。

異なる宗教に心が動いたのは何が原因でしょうか。宗教遍歴、変節、変心を繰り返す動機はアプリア「先験的」（議論するまでもなく）なのか。それとも筆者のように思春期に体験したトラウマ¹²⁰がもたらすものなのでしょうか。たとえば、教会ジプシーと転々と教会を変える方の誘因と同質なものでしょうか。

ローマ・カトリック教会、末次一郎、統一教会から離れた原因は何だったのでしょうか。1949年、「日本のボランティアの父」¹²¹とも称される末次一郎は日本健青会¹²²を全国に立ち上げました。末次は、「後ろ姿でにっこり」と奉仕に仕える精神を強調し、若者たちを奮起させました。

統一教会も1960年代後半に、釜ヶ崎などに伝道を目的で飛び込む気骨のあるメンバーもまだいました。そんな伝道者が渋谷区松濤町本部で報告したり、機関誌でとりあげられると、とても真似ができないと、羨望の眼で見っていました。しかし、勝共連合が1968年にできた頃から異質な動きが始まっていたのです。日本健青会と同様、保守的な政治家を支えるのが当然と

¹¹⁶ 拙論「イエスの福音とは『慈悲』」（関西学院大学商学部 2022 年）。

¹¹⁷ 科学的な事実というより、協会の歴史的事実、および自分自身が体験した事実。ただし認識したのは全体の一部にすぎないことはいうまでもない。

¹¹⁸ 拙論「キリスト教の用い—現代問われている死生観」（日本「祈りと救いとこころ」学会 2016 年 5 頁）。

¹¹⁹ エホバの証人の多くは第一次世界大戦時当時には参戦していた。拙論「キリスト教と非戦」（OCC カレッジ講義 エラスムス平和研究所 2015 年 13 頁）。

¹²⁰ トラウマは次の聖書箇所が登場する。本人が気づいている場合とまったく覚えていない場合がある。「近寄って傷（ギリシャ語 ルカ 10:34）。

¹²¹ 拙論「キリスト教とボランティア道—水平の〈運動〉から、垂直の〈活動〉へ—」（宗援連 東京大学 2016 年 19 頁）。『日本ボランティア学会』（2007 年度学会誌 秋葉武 日本ボランティア学会 2008 年 91 頁）。知識がない岩村は日本健青会主催の全国勤労青年指導者錬成会（国立中央青年の家 3 泊 4 日）でレクリエーション、マラソン、組み体操などの指導を担当。

¹²² 引き揚げ者支援を行なう「日本健青会」（旧健青クラブは 1949 年設立）は政府の青少年（教育）施策の中心的存在になる。末次一郎は、1959 年、総理府中央青少年問題協議会専門委員、青少年問題審議会委員（以後 26 年間）、国立中央青年の家運営委員、1965 年社会開発懇談会委員、文部省社会教育審議会委員（以後 18 年間）、1966 年（社）青少年育成国民会常務理事、後に副会長、顧問。オリンピック記念青少年総合センター評議員、運営委員。1967 年（社）日本青年奉仕協会常務理事、後に会長。戦後における戦前期青年団指導者の「復権」と「協同主義」—主に 1960 年代までの動向に着目して—（安藤耕己 日本社会教育学会紀要 No.46 2010 年）。

いう体質になっていくのです。根っこは反共イデオロギーです。権力に歩み寄る流れが一挙に加速します。自民党の政治家たちは、ある意味で、**Time is money.**の経済人より迅速に行動し、陳情者の依頼に応えようとする特質があります。あれよあれよという間に、末次一郎が作り上げた日本健青会も官僚の下部組織に呑み込まれてしまいました。あれから50年、海外協力青年奉仕隊、JICA、青团連(青少年団体連絡協議会加盟団体)などの創立者末次一郎の名前はホームページなどにも出てきません。一方、統一教会も国際勝共連合ができるやいなや、またたくまに政権与党と癒着していきます。政教分離ではなくなるのです。

中世は教会、寺社仏閣が人々の世界観を統治していました。宗教権威が圧倒的に優勢でした。つまり拝金主義、飽くなき欲望、社会構造の頂点に君臨していました。「無」ではなく、「有」が魅力ある価値観だと影響をもたらしました。ボランティアにお誘いしても、若者たちの意思是動かされません。家が流されたりした報道を見ても、片付ける欲求が生じません。むしろ生物的欲望、関心、追究に忙しいわけです。食べること、住まい、着衣など優先事項が「彼らの行き着くところは滅びです。彼らは腹を神とし、恥ずべきものを誇りとし、地上のことしか考えていません」にあるように、己が「腹」(ギリシャ語 **κοιλία** コイリア *koilia*)を神として、尊重します(フィリピ 3:19)。動物的直観に基づき、腸を神とする生き方です。「人々は食べたり飲んだり、買ったり売ったり、植えたり建てたりしていた」(ルカ 17:28)。その一方で、身体の「腸」が血液をつくり、「脳」で考える思惟と相関関係があることを妻カヨ子が癌の病魔に襲われた時、民間医療の1914年生まれの加藤清¹²³から学びました¹²⁴。断食粉ミルク療法、指圧、玄米菜食の生活に変わりました。加藤はガン細胞が脊髄ではなく、腸から生じるという信念で、指圧を改良した施術とミルク療法で一時期日本を席卷しました。貧しい者からは施術費を取らない加藤は宗教者に劣らない聖人でもあったからです。

宗教エリート帝国が豪華絢爛なリタジー¹²⁵、建造物、権勢を誇れば誇るほど、拝金主義の価値観に無縁の貧者は宗教離れになるのは至極当然です。中世時代も数え尽くすことができないほど、ローマ・カトリック教会修道会が立ち上がりました。ローマ・カトリック教会だけでなく、正教会も初代といえますか、修道士は「世」¹²⁶(ギリシャ語 **κόσμος** コスモス *kosmos*)には染まらず超越しています。「もしあなたがたが世から出た者であるなら、世はあなたがたを自分のものとして愛するだろう。だが、あなたがたは世から出た者ではない。私があなたがたを世から選び出した。だから、世はあなたがたを憎むのである」(ヨハネ 15:19)。創立者が貧者に寄り添う生き方をしているも2代目、3代目になると、後継者は財政、組織、優秀な人材を維持するために腐心し、世と迎合し、歴史からほとんどが消えて行きました。宗教で貧困、差別、抑圧から解放されないとポリシェヴィキ政権¹²⁷、中国共産革命も20世紀に登場する引き金になります。

筆者の場合、統一教会が世界最大の信徒数を擁する宗教組織を目指す過渡期を目撃

¹²³ 千葉県生 県立一宮実業高校中退、18歳結核性痔瘻入院。1964-1969年25歳八戸に断食道場開く。難病患者の治療。1969年大阪 加藤式整体治療院開設。作家三浦綾子などが加藤清の施術で回復。1988年医師法違反で摘発される。

¹²⁴ フィンランド共和国社会保健省が加藤清を研究に来日。通訳をさせてもらい、妻のミルク道場の入所料を免除してもらう。その際、血液が大腸で作られるという正統医学では認められない「腸造血説」を唱える千島喜久男[きくお 1899-1978]、森下敬一[けいいち 1928-2019]の医学者たちの研究について知る。

¹²⁵ 典礼 ギリシャ語「礼拝」は **λειτουργία** レイトウレグエオ *leitourgeo*。ラテン語を経て英語で、**liturgy**(リタジー)。

「宗教帝国のエクスターシアが世界を滅ぼすー第1次ウクライナ・ボランティア報告ー」(兵庫県民会館 2022年6頁)。

¹²⁶ コスモス *kosmos* =英語 **adorning** <魅力的に飾る[装飾する]の意> 「あなたがたは、髪を編んだり、金の飾りを身に着けたり、衣服を着飾ったりするような外面的なものではなく」(Iペトロ 3:3)。「着飾る」(コスモス 英語 **adorning** NIV “outward adornment”) **adorning** を筆者が英語教室 I.C.S.で1975年から用いた愛用辞典は、語源として、ラテン語 **ad-to+om** <*ornāre* furnish: 同系語 *ornament*)と付記。『英和中辞典』(旺文社 1993年46頁)。

¹²⁷ 1918年10月、ウラジーミル・イリイチ・レーニン[1870-1924]が武装蜂起し、「ロシア共産党(ポリシェヴィキ)政権、いわゆるソヴィエト連邦を確立。

しました。美しい大聖堂、絢爛たる聖衣、壮麗なミサに変節していく変わり目です。政教一致の政治力、米国大統領の就任式で歌うタバナクル合唱¹²⁸、広大な敷地にそびゆる神殿はキリストが言った「白く塗った墓」(マタイ 23:27)に他なりません。「あなたの衣はどれもみな没薬、沈香、シナモンの香りを放ち 象牙の宮殿から響く弦の調べはあなたを喜ばせる」(詩編 45:9)。

筆者は、コスモス化に染まった組織からニッチ¹²⁹「現代社会の凹地(くぼみ)」を求めました。ニッチこそ「低きに下って御覧になる方」(詩編 113:6)の存在があります。ほのかな光への希求でした。煌びやかなエクスーシア、権力志向の渦潮、名声の最前線から離れました。「低き」トポスが自分の生き様の波長に合いました。東京の山谷、大阪の釜ヶ崎、神戸の新川の貧民窟のくぼいたたずまいこそ深呼吸しやすかったのです。

(2) 千年王国に命をかけた女性たち

a. 非戦が真理契機

筆者の信仰観と波長があったと言いますか、模範とすべき歩みをした二人の戦前、戦時下の女性について言及させていただきます。明石静栄と神田モードです。後者は戦後も信仰者として良き歩みをされました。

最初に、明石静栄をとりあげます。



『燈臺』誌(燈臺社 1933年6月15日号)



神戸市須磨区の「ベテル山荘」 1926年1月5日¹³⁰

後列左から三人目明石静栄、帽子 神田モード 中央 内村鑑三

¹²⁸ 2017年1月20日、ドナルド・J・トランプ大統領の就任式でも末日聖徒イエスキリスト教会のタバナクル合唱団が賛美。1981年、俳優だったロナルド・レーガン[1911-2004]大統領は「アメリカの合唱団」と、ジョージ・H・W・ブッシュ大統領は1989年、「アメリカの宝」と讃えた。

¹²⁹ ニッチ(niche)「隙間」を意味するイタリア語 nichia が語源。〈例〉 find a niche for oneself 自分の適所を見つける。『英和中辞典』(同1243頁)。“Webster's 3rd New International Dictionary” Merriam Webster; Indexed, Unabridged, 1993, p.1525。

¹³⁰ 1911年、神田繁太郎[1882-1965]の父直五郎は須磨区西須磨字堀切6番地(現須磨区一ノ谷1丁目)に來日した神田モードとその両親のために1千坪の木造洋館を設計建築。「ベテル山荘」と命名した。モードの父は妻アディを須磨に残して、安心して帰米。モードは琴、生け花、日本料理を習得。神戸から明石に行くために、神田家の土地を横切らずに行くことはできないほど、名家であった。神田夫婦が人力車に乗っている光景は当時の風物詩として神戸市民の注目を集めた。

エホバの証人二世の杉山紀之兄¹³¹が離脱にいたった経緯は、筆者が集めていた燈台社の資料に関心をもったことがきっかけでした。聡明かつ緻密な特別開拓者¹³²でもありました。

杉山兄は筆者のギリシャ語、ヘブライ語の教師である関藤仁志[1926-1995]先生¹³³にも個人的に燈台社時代の書籍の資料を訊いたりして、共同で探究の旅が始まりました。

ちなみに筆者が1988年のものみの塔脱会前、数年にわたって蒐集した資料集、燈台社の年譜と人間関係についての「燈台社の沿革」(以下、「沿革」)¹³⁴を地下活動用として用いました。日本のものみの塔の海老名支部にもない蒐集物(Iwamura's Library所蔵)から作成しました。2001年、「沿革」は拙稿『目葉』誌No.23, 24に転載しました。

出典

- 1) 「目ざめよ」誌 1973/1/8 p.27。年鑑 1988 p.142,153 ;兵 p.103,130,151 ; 「目ざめよ」誌 1973 1/22 p.25, 英文年鑑 1972 p.215。
- 2) 年鑑 1988 p.142,153 ;兵 p.103,130,151 ; 「目ざめよ」誌 1973 1/22 p.25, 英文年鑑 1972 p.215。
- 3) 年鑑 1988 p.156, 兵 p.58,130,133,177。
- 4) 兵 p.130,171。
- 5) 年鑑 1978 p.234。
- 6) 年鑑 1998 p.75。
- 7) 年鑑 1978 p.216。

年鑑：ものみの塔協会発行 兵：『兵役を拒否した日本人』(稲垣真美 岩波新書 1972年)

「須磨ノ浦聖書講堂」のメンバー *は内村鑑三の無教会派に転向、△は戦後のエホバの証人。

神田繁太郎, △神田モード, 神田静栄 [後の明石静栄], *入間田佛吉 [小児科医師一後に黒崎幸吉の高弟], *後藤亮,
*津越隆造 [静栄の弟, 兵庫商工銀行淡路島洲本支店勤務], *井上隣太郎 [勸業銀行員, 繁太郎の従弟, 直五郎の弟の息子],
*田淵一雄 [銀行員], 野本仁之助 [譲世夫の喪父], △赤松今朝三 [画家志望], 酒井醇一郎 [日露戦争の傷痍軍人, 1939年病死],
尾崎軍三 [検挙前に交通事故死], 太田克己 [関学卒業一後藤亮の親友, 検挙前に病死], 西松五郎 [神戸新聞社編集部],
仁木, 小倉, *井上富久子 [隣太郎の妻; 青木義雄の娘], 山中善重 [ハワイ], <後藤貴八 [再度篤教会員]の息子・娘> (*後藤愛子,
*後藤静江 [1945年病死], 後藤朝子, *田中安子, *後藤薫, 田中咲子 [大阪の株式取引所理事長の娘, 兄長三郎は植物学者],
△田中千代 [旧姓宇野], 平泉君子 [旧姓宇野], 川野昌有, 塩見俊寛, 於宿, etc.

参考図書：「明石順三の公開状」明石順三 1947年10月15日発行。

- 『キリストの証人たち』抵抗に生きる 4 明石順三 笠原芳光 日本基督教団 1974年。
- 『神戸と基督教』100年史に輝く巨星たち 吉野丈夫 神戸伝道百年史刊行会 1975年。
- 『戦時下のキリスト教運動』1 同志社大学人文科学研究所・新教出版社 1981年。
- 『神戸史談』234 神田三郎 神戸史談会 1974年。
- 『歴史と神戸』一須磨浦聖書講堂をめぐる動き 西松五郎 神戸史学会 1981年。
- 『いもづる』掘り起こし現代史一明石静江 高坂薫 神戸YWCA 1987年。
- 『福音と世界』私説 神田繁太郎 高坂薫 新教出版社 1973年4月, 5月, 6月, 8月号。
- 『兵役を拒否した日本人』稲垣真美 岩波新書 1972年。
- 『父の遺言』明石光雄 明石孔版印刷 1997年7月1日。

Iwamura's Library 資料提供 (燈台社発行出版物, 写真, 手記など 1913~1939年)

- a. 『世々に渉る神の経緯』(C.T.ラッセル 横浜萬國聖書研究會 1913年)
- b. 『ベテル山響』『聖書研究』第1巻~第6巻 神田繁太郎訳 ベテル山荘 1923年)
- c. 『神の立琴』(J.F.ラザフォード 順三訳 ニューヨーク萬國聖書研究會 1925年)
- d. 『王國の鑿寶』(神田繁太郎 ベテル山荘 1925年)
- e. 『ダニエル書の預言』(神田繁太郎 向山堂書房 1926年)
- f. 『燈臺』[ものみの塔誌の前身] (明石順三, 神田繁太郎など 燈台社日本支部 1927~1939年)
- g. 『神の救ひ』(J.F.ラザフォード 順三訳 萬國聖書研究會 1927年)
- h. 『死者は何處に居るか』(J.F.ラザフォード 順三訳 萬國聖書研究會 1928年)
- i. 『黄金時代』[「目ざめよ」誌(なくさめ誌)の前身] (明石順三 燈台社 1928~1937年)
- j. 『創造』(J.F.ラザフォード 順三訳 萬國聖書研究會 1929年)
- k. 『犯罪と災害』(J.F.ラザフォード 順三訳 萬國聖書研究會 1930年)
- l. 『政府』(J.F.ラザフォード 順三訳 萬國聖書研究會 1930年)
- m. 『和解』(J.F.ラザフォード 順三訳 萬國聖書研究會 1930年)
- n. 『生命』(J.F.ラザフォード 順三訳 萬國聖書研究會 1931年)
- o. 『預言』(J.F.ラザフォード 順三訳 萬國聖書研究會 1931年)
- p. 『天と煉獄』(J.F.ラザフォード 順三訳 萬國聖書研究會 1931年)
- q. 『光』第一巻 (J.F.ラザフォード 順三訳 萬國聖書研究會 1933年)
- r. 『光』第二巻 (J.F.ラザフォード 順三訳 萬國聖書研究會 1933年)
- s. 『保護』(J.F.ラザフォード 順三訳 萬國聖書研究會 1933年)
- t. 『富』(J.F.ラザフォード 順三訳 萬國聖書研究會 1936年)
- u. 『安全』(J.F.ラザフォード 順三訳 萬國聖書研究會 1936年)
- v. 『なくさめ』(明石順三 燈台社 1938~1939年)
- w. 『敵』(J.F.ラザフォード 順三訳 萬國聖書研究會 1938年)
- x. 『全體主義か自由か』(J.F.ラザフォード 順三訳 萬國聖書研究會 1939年)
- y. 『エホバの証人の年鑑』1939年~1998年(ものみの塔協会)

¹³¹ 兵庫県淡路島のローマ・カトリック教会の幼稚園に通い、母親の入信に伴いエホバの証人二世になった。1988年、私たちと一緒に断絶届けを出し、現在ローマ・カトリック教会に戻っている。

¹³² 特別開拓者は、当時、全国で約800人。仕事をせずに組織からのわずかな手当てで生活。月に140時間以上の伝道。巡回監督の80パーセントが元特別開拓者。一緒に離脱したもう一人の特別開拓者は現在北海道で牧師である。

¹³³ 関藤仁志は神戸市中央区栄町通7丁目の「マナ書房」経営。1974年無教会を主宰しながら、ヘブライ語、ギリシャ語を教えた。須磨浦聖書講堂の田中(旧姓宇野)千代や、井上隣太郎たちを紹介していた。

¹³⁴ 拙稿「燈台社の沿革」(1988年)。拙稿『目葉』誌 No.23, 24(キリストの王国ネットワーク 2001年)に転載。

ものみの塔の教理、とりわけ1914年にイエス・キリストが目に見えない臨在を始めたという終末論、聖書の神はエホバだけか、キリストも神ではないのか。福音宣教のテーマは「王国」なのかは長年氷解しない謎でした。キリスト教会から転向した神戸市明舞会衆のメンバーたちが温存していた疑問でした。問題はものみの塔脱会後、どこに行けば永遠の命が保障されるのか、という課題が最大の関心事でした。とりわけ、戦前の官警の熾烈な迫害を耐えた燈臺社のメンバーたちの話についてはどの証人たちも耳を傾けてくれました。教理の間違いを論駁するより、功を奏しました。燈臺社も、現代のエホバの証人¹³⁵も、内村鑑三の無教会主義も共通項があります。それは「非戦」¹³⁶の問題だったことに注視すべきです。「汝、殺すなかれ」**לֹא תִרְצֹחַ** ロー ティルツァクフ<ラツァ ratsachの「パル未完了形」(出エジプト 20:13)¹³⁷に基づいての聖書からの話し合いにより、無教会への集団離脱につながりました。

プロテスタント組合派の兵庫教会執事神田繁太郎[1882-1960]¹³⁸は同志社で宗教揺籃期を過ごします。1921年に、来神した内村鑑三の著書『聖書研究』、特に再臨論、終末論、非戦論に感動します。1914年に受洗した須磨教会(現在の日本基督教団)を兄雄二郎¹³⁹や仲間達と1922年に脱会します¹⁴⁰。全員、同志社系のプロテスタント組合教会から籍を無教会主義に転向しました。1923年、繁太郎が牧会者として、「須磨浦聖書講堂」¹⁴¹(井上隣太郎の借家)を立ち上げます。「沿革」2頁。

理由は、西方教会の神学の父アウグスティヌスの正戦論¹⁴²、つまり優先的平和主義とは一線を画したかったからです。非武装完全平和主義の無教会へと磁石のように結びつきました。

繁太郎が牧会する須磨浦聖書講堂ではC.T.ラッセル¹⁴³著『世々に渉る神の経綸』を米国から入手し、ヨハネの黙示録やダニエル書に基づく終末論を研究していました。しかし、ラッセル信奉者ではありませんでした。繁太郎の著書¹⁴⁴を読むと、ラッセルが登場しません。

杉山兄と筆者は明石順三¹⁴⁵[1889-1965](灯台社代表 戦前ものみの塔聖書冊子協会[エホバの証人]日本支部)がなぜ戦後のものみの塔から除名になったのかを追跡、検証しました。ものみの塔組織の実態、教理の変更が浮き彫りになってきました。順三は1926年9月6日に、米国から神戸に遣わされ、須磨関守町に同居します。「沿革」3頁。

¹³⁵ 第一次世界大戦[1914-1918]当時のものみの塔信者は、エクスーシア(権力)に合わせ、厳正中立ではなかった。英文「ものみの塔」誌(1918年6月1日号174頁)。『神の王国をふれ告げる人々 エホバの証人』(ものみの塔発行1993年191-192頁)。

¹³⁶ 鑑三は日清戦争の義を世界に英文で訴えたことを「深く心に恥づる者」、と後悔し、日露開戦前に非戦論者になった。『内村鑑三全集⑩』(内村鑑三 岩波書店1981年424-425頁)。1903年、『萬朝報』で非戦論を展開。

¹³⁷ 「宗教はコロナウイルス後の社会をどう目指すか」第3章(WCRP 平和大学講座2022年23頁)。「一人を殺すは万民を殺す如く、また一人を生かすは万民を生かす如しと規定せり」『聖クルアーン』5章32節。

¹³⁸ 繁太郎は同志社大学英学校中等部[現同志社大学]でキリスト教的人道主義の安部磯雄(1865-1949)から学んだ。日露戦争では非戦論だった安部の社会主義思想から影響を受けたにちがいないと岩村義雄は推論する。父直五郎は兵庫港で「日本木材株式会社」を経営。同志社系兵庫教会の執事。家族全員がキリスト者。繁太郎は1901年、米国ウイスコンシン州立大学に留学。10年の在米中1906年にアメリカ人小学校教師モード・エモンズ Moaud Emonds と結婚。繁太郎は兄雄二郎と木材会社の家業を継ぐため、妻モードとその両親と共に1909年に帰国。「沿革」1-2頁。

¹³⁹ 繁太郎の兄雄二郎(神田家の長男 同志社卒)は、1912年和歌山県新宮町の木材会社経営津越伊平次・この長女静栄と入籍。プロテスタント組合教会活動に夫婦共々熱心。雄二郎は1924年直腸ガンで逝去。静栄は、1931年に順三と入籍。

¹⁴⁰ 燈台社(万国聖書研究会 現在のものみの塔聖書冊子協会)のC.T.ラッセルが来日し、大阪で講演。繁太郎は知らず。

¹⁴¹ 神戸市須磨区一ノ谷にあった。市電で終着駅「須磨」下車し、徒歩で約15分川沿いに傾斜を上る。「ベテル山荘」と隣接。集会出席者については「沿革」8頁参照。繁太郎が牧会者として信頼を得ていた。

¹⁴² 「キリスト教と非戦」(OCC カレッジ講義 エラスムス平和研究所2015年5,6頁)。

¹⁴³ ものみの塔聖書冊子協会の初代会長C.T.ラッセルは、スコットランド長老派で育つが、ペンシルバニア州ピッツバーグ市で、ウィリアム・ミラー[1782-1849]のキリスト再臨説の流れを組む3つの内のインデペンデント・アドベンティスト派の指導者のネルソン・H・パーバー[1824-1905]が説く1874年終末論説と救済論を受け入れた。「Historical Dictionary of JEHOVAHS WITNESSES」Georged D. Chrystides, The Scarecrow Press, Inc. Plymouth, UK 2008 p.xxx-xxxiii。

¹⁴⁴ 『ダニエル書の預言』(神田繁太郎 向山堂書房1925年)、『王国の饗宴』(復刻版『王国の供宴』井上隣太郎共1951年)。

¹⁴⁵ 拙稿『神戸と聖書』(岩村義雄 神戸新聞総合出版センター2001年209-212頁)。

弾圧に屈せずに日本帝国主義と戦った燈台社の証言、戦時下抵抗の記録、個々の聖書信仰が次々に特攻資料などから分かってきます。一方、1930年代以降、ものみの塔は組織への律法主義、組織拡大路線、神学教育により、個の生き生きした信仰が削除されていきました。戦後、獄から解放された明石順三はそんな教条主義的に変わった出版物を読み、失望しました。異を唱えた故に組織は順三を追放します。戦時下は模範として褒めていたにもかかわらず、不忠実な輩として評価が逆転してしまいます。一方、キリスト教界では、多くの出版物が戦前の燈臺社、明石順三を忠実なキリスト者として評価¹⁴⁶しています。

ものみの塔が正しいのか、それともキリスト教界が正しいのか。筆者につきつけられた二律背反の問いです。

b. 時代に翻弄された明石静栄

前列 左から明石(神田)静栄、内村鑑三、江原万里、
後列 右から神田繁太郎、神田モード、青木澄十郎。
1919年7月15日「ペテル山荘」にて。
『江原万里・祝 遺構と回想』(松田智雄・江原望監修・
高木謙次・福島穆編 新教出版社 1994年 186頁)。



ものみの塔は大正末期から昭和戦中にいたる約20年間を戦時下抵抗で貫いた唯一の宗教団体と言えます。その「燈台社」の足跡を辿りました。とりわけ1944年に栃木刑務所で獄中死した明石静栄[1887-1944]¹⁴⁷の人生はものみの塔研究者にとり無視することはできません。後藤亮[1901-2000]から「戦争に翻弄された女性」について聴いたとき、筆者の心の内側に波が立ちました。静栄のライフストーリーを詳細に語られました。時空を越えて目の前にいる静栄と直面して感情を抑えることはできませんでした。静栄は燈台社の布教活動、戦時下抵抗運動の流れにもまれながら、一貫して変節せずに生き抜いた人間です。心の駒に手綱を許してきた自分にはない静栄のひたむきな純粋さに顎が胸につくほど項垂れました。

宗教者として己れを恥じ入らせました。王国会館の聖職者として、尊大なエホバの証人に厳しく接して、泣かせることもありましたが、自分が泣くことなどはほとんどなかった多忙な宗教

¹⁴⁶ 『福音と世界』(笠原芳光 1973年8月号 38-43頁)。『キリストの証人たち—抵抗に生きる4—』(四竈揚(しかまよう)、関田寛雄編集 日本基督教団出版局 1974年 102-133頁)。『神戸と基督教』(吉野丈夫 神戸キリスト教書店 1987年 216-224頁)。『戦時下抵抗の研究1』(佐々木敏二 同志社大学人文科学研究所 1978年 93-139頁、拙稿『神戸と聖書』(岩村義雄 神戸新聞総合出版センター 2001年 211-212頁)。

¹⁴⁷ 明石静栄[旧姓津越(つごし)静江] 和歌山県新宮町生。1912年、神田雄二郎[1877-1924](繁太郎の兄)と結婚。雄二郎 1924年死去。1926年順三帰国。1931年順三と結婚。1939年巢鴨留置所に捕わる。

生活でした。亮が住んでいる鶴甲の老人ホームから朝霧の自宅までどのように歩いたのか、彷徨ったのか、家に着いた時は、もぬけの殻になっていました。戦時下とはいえ、あまりにも残酷な仕打ちにやり場のない怒りがこみあげました。そんな忠実な姉妹を、明石順三と重婚だったと戦後のものみの塔出版物は詐称していました¹⁴⁸。弱い女性に対する思いやりがない組織の非情さ、いやしくもグループの指導者の端くれであった筆者は、自分が命がけに仕えてきた宗教が組織優先のためなら偽証する体質に茫然自失となりました。

それまで、自分は、ものみの塔の20世紀初期の英語版の古い出版物、蓄音機、トーキー時代の映画のシナリオなど渡米してまで蒐集に明け暮れていました。米国ものみの塔の初期の19世紀の出版物を入手すること、戦前の燈臺社の文書を蒐集するために、収入を注ぎ込みました。将来博物館を開けるほど、寄せ集めました。地域大会などでも展示用に貸し出しをし、ひけらかすのが自慢でした。いわば自分の存在を必要以上に他人に目立つようにする利己が動機でした。ものみの塔が強調する自分を変革することには達していない最低の長老でした。名長老と言われるために、中身ではなく、自己顕示欲の奴隷だったのです。組織の歴史書『エホバの証人 神の王国をふれ告げる人々』(ものみの塔協会 1993年)発行に備えて戦前の燈台社の痕跡の裏付けの調査に海老名ベテルの越野長老夫婦が1988年に岩村宅に来ました。奥さまは旧姓浅山あさの¹⁴⁹と言われ、繁太郎の家でメイドをしておられました。明石順三のあら探しの資料入手に来たと筆者はすぐに勘で分かりました。順三たちの純粋な宗教者としての矜持の資料を提示しました。二人は記録し、用件をすませ、外に出られました。筆者が後藤亮から静栄や神田モードについて聞いたとき、呆然自失したのと似ています。彼女は乗車する時、溝に足を滑らせました。それほどの精神的な衝撃だったと察します。5年後に協会は本書を発刊しました。日本の歴史の項でも順三のことは一切触れられていませんでした。一方、キリスト教界の出版物では、明石順三のことを忠実なキリストの証人として美談として取り上げているのは複数に及びます¹⁵⁰。対照的です。

しかし、そんな蒐集物のコレクション¹⁵¹が近隣の会衆の若者たちに影響を与え、そんな関係性が集団離脱につながっていったのは慮外でした。

明石静栄はどんな女性であったのでしょうか。1988年につづった拙稿「沿革」から抜粋します。

和歌山県新宮市で津越伊平次の長女として1887年に誕生します。木材会社経営の家庭で育った子女でした。1904年に熊本県尚綱^{しょうけい}高等女学校本科を卒業します。高校時代には人吉カトリック教会の慈善事業に余暇を活用してボランティアにいそしみました。教会はフランス人フランソワ・ブレンゲ神父[1871-1946]が着任して5年後の1903年に畳敷きの会堂を建設。現在は司祭館になっており、本堂は隣接にあります。1906年には貧者や、病人を診療所(後の復生園)でシスター(修道女)たちが世話をしており、静栄の青春時代に感化を与えたと筆者は想像します¹⁵²。「沿革」1頁。

¹⁴⁸ 『エホバの証人年鑑 1998年』(ものみの塔聖書冊子協会 66-161頁)。「明石は、すでに妻がいたにもかかわらず、一夫多妻という日本の伝統的な習慣を受け入れました」と。静栄との結婚がまるで重婚かのようにものみの塔は順三を貶めた。

¹⁴⁹ 越野あさのは戦後最初のギレアデ学校卒業生 22期生。

¹⁵⁰ 『福音と世界』(笠原芳光 新教出版社 1973年 38-43頁)、『キリストの証人たち—抵抗に生きる4』(四竈 揚、関田寛雄編 日本基督教団出版局 1976年 101-147頁)、『神戸と基督教—100年史に輝く巨星たち』(吉野丈夫 神戸キリスト教書店 1987年 216-234頁)、『戦時下抵抗の研究1』(佐々木敏二 同志社大学人文科学研究所編 みすず書房 1978年 93-139頁)、『神戸と聖書』(岩村義雄 神戸新聞総合出版センター 2001年 211-212頁)など。

¹⁵¹ 現在、神戸市垂水区狩口台 5-1-101の牧師館の Iwamura's Library に保管。

¹⁵² 『カトリック人吉教会の 100年 1899~1999年』(カトリック人吉教会 2001年 19,32-33頁)。

1912年、繁太郎の兄、雄二郎¹⁵³に嫁ぐために神戸に来ます¹⁵⁴。「沿革」1-2頁。

1918年内村鑑三の来神後、10月15日鑑三から神田雄二郎夫婦は受洗¹⁵⁵。弟の繁太郎と共に同志社系の教会から無教会に転向しました。1922年静江から静栄に改名しました。翌年「ベテル山荘」から東へ約1キロ、須磨区西須磨小神(現関守町)の「須磨浦聖書講堂」¹⁵⁶に通うようになります。繁太郎の妻モード[1880-1963]の母アディ・エモンズは夫が逝去したため、米国に帰国しましたが、再来日しています。「沿革」2頁。

1926年12月、明石順三は日本の須磨浦聖書講堂を包括して、燈台社の日本支部を創設します。順三の説くワッチタワー¹⁵⁷と無教会の鑑三が説く聖書中心主義、再臨思想、既存のキリスト教会が十字架など偶像を容認する路線を否定する信念は軌を一にしました。とりわけ1930年代、1940年代当時の燈台社は戦後のものみの塔が組織を重視する姿勢とは異なります。偶像を徹底して拒絶するスコットランドのリフォームド¹⁵⁸、前述のバーバー師の終末論¹⁵⁹を基軸に伝道に明け暮れました。三位一体を否定する面より、ユニテリアン¹⁶⁰としてキリストの道に属する群れでした。したがって、ものみの塔の源流はフリーメーソン、心霊主義、オカルトではないことは明白です¹⁶¹。神名エホバにこだわるようになったのは、日本の燈台社が官警から徹底的に弾圧されるようになる前の時期¹⁶²でした。「沿革」3頁。

天皇制を認めない燈臺社は治安維持法¹⁶³[1925年制定]違反の対象となります。1933年5月、日本で法的に宗教結社として最初の弾圧。禁令による発行物没収、投獄、拷問は全国一斉に実施されました。明石順三、その妻静栄は獄中、どのように信仰の馳せ場を過ごしたのでしょうか。津越隆逸[1903-1983]は4歳の時に津越家に養子として迎え入れられました。当時20歳だった静栄は隆逸を母親のように世話をしました。静栄は投獄されている間も、心を開いて、隆逸と手紙のやりとりをしています。和歌山から結婚して兵庫県洲本市に移り住んでいた隆逸は唯一の身内でした。彼に宛てている文面から静栄の人となりも彷彿できます。静栄の律儀で、細やかな心配りがにじみ出ています。

「泰代さんもお産後の養生無理しない様お大事にね 此頃の暑さは中々厳しくなりましたが毎日海に行ってる事でしょふ 釣や泳ぎがいいですね あんたハ河童の様に上手ですがあんまり遠くの沖へ行かない様に注意なさいよ 私も時々夢に泳いでいる事が有りますよ着物のまゝで大底川の様な処でね 裏の菜園は物に成りましたか トマトや茄子が喰べられる

¹⁵³ 1912年5月14日、神田直五郎・しなの長男雄二郎と結婚。材木商同士の見合い。神戸市兵庫新在家11番に居住。

同年、繁太郎・モードが米国から帰国した際、新居須磨宇堀切6番地の豪邸に長男雄二郎・静栄も転居。

¹⁵⁴ 雄二郎も兵庫教会の熱心な信者。後に無教会に夫婦で転向。直腸ガンのため、1924年9月1日午後0時半逝去。静栄36歳。

¹⁵⁵ 1918年3月31日、内村鑑三が神戸キリスト教青年会館(現在YMCA)で「基督の復活と再臨」を講演。神田繁太郎夫婦は感銘を受け、鑑三を「ベテル山荘」に招く。10月15日、夫婦は受洗。鑑三が直接バプテスマを施した3例目になる。

¹⁵⁶ 1923年9月2日、井上隣太郎の借家を用いて須磨浦聖書講堂を開設。

¹⁵⁷ ワッチタワー、燈台社(The Watch-tower, Bible and Tract Society, ニューヨーク・ブルックリン本部)の日本支部。

¹⁵⁸ 初代会長C.T.ラッセルは英国スコットランドの厳格なピューリタン礼拝を重んじ、一切の偶像を会堂に置かなかった。

¹⁵⁹ 死後は無意識という死生観はウィリアム・ミラーの後継であるアドベンティスト、セブンスデー・アドベンティスト、インデペンデント・アドベンティストの3つの流れに受け継がれる。3つに共通しているのは霊魂不滅・地獄の否定である。ネルソン・E・バーバー師はインデペンデント・アドベンティスト派の指導者、『朝の先触れ』編集者。『エホバの証人年鑑1976年』36-38頁。

¹⁶⁰ 父なる神のみを神とする。三位一体を否定する。『ユニテリアン思想の歴史』(デーヴィッド・B・パーク 紺野義継訳 アポロン社1977年)。

¹⁶¹ 日本のものみの塔の批判書の多くは、米国等の元エホバの証人の批判書がベースである。元本の出典も明記しない換骨奪胎の牧師たちの本はアカデミックとはいえない内容が多い。それらの真正ではない情報をベースにした論考、たとい著名な日本人学者の推薦をとりつけても、論考は羊頭を掲げて狗肉を売るような類である。書店、図書館、大学に散見される。

¹⁶² 「国際聖書研究者協会」International Bible Students Associationが、1931年7月26日、米国オハイオ州コロンバスで、2代目会長J.F.ラザフォードが「エホバの証人」Jehovah's Witnessesに組織名変更。『エホバの証人年鑑1976年』149頁。

¹⁶³ 治安維持法により日本で最初の宗教団体の弾圧を燈台社は受けた。

様に成りましたか 私の病中書物を調べ野菜栽培方といふので見ますと茄子は植付の前に肥をやって其後二回程肥料(人糞肥料)などかけなければならぬそうです トマトは支柱をやって花が咲いたら枝の伸び過ぎない様芽を切り取るのだそうです 豆類は人糞肥料は必要ないそうです お医者様から読んだり書いたりしてはいけないと止められていたのですか 知らして上げ度いと思ひ……私は五月の末頃から肋膜炎とかで暫く安静療養していましたが自分では重体とは思ひませんでした。身は衰弱している処なので余病が出たりどんなに変化するかとお医者様が御心配下すって随分大事に取扱って下さって部長様も共に御注意下すって誠に感謝しております。お陰で思ひの外にずんく快くなってきました。それでやうやく手紙も書ける様になりましたの 御安心下さい。それでも長く読んだり書いたりすると労れますからまた書きます。そちらの様子も知り度と思ひます。写真返送の手續きしようふと思ひながらそのまゝに成っております。おもしろい事有りましたら知らして下さい。魚を猫にやられて失敗しましたね。先ハ右まで 皆さんのご健康を祈ります」(1943年8月14日付)¹⁶⁴。

1943年9月21日付の封緘葉書は、次をもって静栄の最後の通信となります。

「弁護士が度々来られて今までの考へが間違つて居たと言明して呉れたらいつでも出して貰へるのだからとよく勧めに来て呉れました」と「心の中では嬉し涙に溢れてどんなに感謝して居たか知れませんが」。「親類から懲役人が出たと有つては誠に御気の毒に思つて居ます」。「只神の言葉が日本国家の希望し目的する処と一致しないといふ事に由てこんな結果に成つて仕舞つた訳ですが凡てが事実と成つて証明される時が来るだろうと信じています。明石も同じ事」。「私の心ハ固くして神に対し 人に又己に偽る事が出来なかつたのです。信仰の為にたとへ罪人に成るもの止むを得ない思つています」¹⁶⁵。

1943年11月26日、栃木刑務所に移送され、独房に収監されるのです。検挙された証人田辺トミも栃木刑務所に収監されますが、翌年48歳で獄死します。「沿革」6頁。

静栄も6月8日、栄養失調、肺病と神経痛を病みながら孤独の内に息絶えます。58歳でした。ものみの塔聖書冊子協会発行の英文『年鑑 1947年』、『同 1948年』では、静栄、順三について戦時下抵抗をとりあげています。ものみの塔本部にもまだ混乱があつたというより、組織拡大の宣伝になる体験は美談として利用できるからだと筆者は考えます。組織至上主義者が陥りやすい属性です。ただドイツのナチズムによる牙にかかつたアウシュビッツ強制収容所におけるエホバの証人の謹厳実直な振る舞いはゲシュウタボ、ルドルフ・ヘス収容所長などからも人間として信頼が置かれていました¹⁶⁶。全体主義にあつても、「非戦」の振る舞いは万人から普遍的な敬意を獲得してきたことは否めません。

¹⁶⁴ 『掘り起こし現代史いもづる 第二集』(高坂薫 神戸 YWCA 1987年 133頁)。

¹⁶⁵ 『掘り起こし現代史いもづる 第二集』(同 135頁)。

¹⁶⁶ “Commandant of Aushchwitz” Rudolf Hoess 1995 Clays Ltd, Elcograf S.A.p.135-136。アウシュヴィッツ＝ビルケナウ強制収容所で、2022年6月9日購入。著者収容所所長ルドルフ・ヘスは、敬虔なローマ・カトリック教会信者である。

c. 戦後最初のエホバの証人 神田モード

『女性自身』(1960年11月23日112-116頁)から抜粋 海に見える部屋の夫婦

神田繁太郎氏の家の二階からはすわったままで神戸港が見えます。長い航路をおえて、ほっとしたような表情で、ゆっくりと入ってくる船。七色のテープを海にひきながら、白い城のような気品を見て出港する船。繁太郎氏は、1959年の7月、脳出血におそわれて病床にあります。その床の上から、来る船ゆく船を、年老いた目でとらえています。

船が去って行く海の向こうにはかれこれ50年も昔に、妻のモードと結婚したアメリカがあります。その思いは、すでに遠くはるかであります。が、妻のモードは、いまなお、夫婦という不思議な結合体について、なまなましい感覚を持ち続けてくれているのです。

ついこの間の10月23日誕生日でした。

妻のモードは、いつものように二階にあがってくると、繁太郎氏の冷えた手を、あたたかい活力のある両手にはさみながら言いました。

「お誕生日、おめでとうございます。私は、あなたと結婚して幸福だったと思いますよ。あなたは、長い間、私の生きが이었다し、これからもますます、そうあるでしょう」

繁太郎氏は、脳出血をわずらって以来、顔の筋肉を動かすことができません。だから妻の祝辞を受けた時も、胸の中は涙でいっぱいでしたが、顔はほとんど無表情でした。そのかわり、目が潤んで仕方ありませんでした。

妻の祝辞は、すでに50年以上も言い続けてきました。

幸福—はたして、そうであったろうか。繁太郎氏は若いときから、テンカン持ちでした。

それも発作がおきるとひどく、道ばたでも電車の中でも、倒れたら最後、自力では起き上がれませんでした。

家の中にいても、発作を起こすと火鉢の上にも倒れます。

時と場所をとわず、人事不省になる夫、ミセス・モードの50年の生活は、その夫のささえ柱になることに費やされました。しかも太平洋をひとつまたいだ、異郷の地、日本での生活です。

しかし、妻は静かに「幸福でした」と言います。そんな夫を世話することが「私の生きが이었다よ」とも付け加えます。

じじつ、ミセス・モードは、76歳の老躯をものともせず、月水土の三日間は、神戸市にあるパルモア学院の教壇に立ち、美しい英会話を孫のような生徒に教えています。火曜日には須磨ノ浦女子学院の英語を受け持ち、そのうえ自宅に帰っても、週に3回、生徒たちを集めて英語を教えています。

1929年に岡山県商業高校で英語教師を片道3時間かけて週2回通いました。てんかんの病身の繁太郎を支えるためでした。翌年、英会話教本『EVERY DAY ENGLISH』を発刊。繁太郎のてんかんの発作の頻度が高まり、岡山に移転します。1936年に岡山市国富町255番地に居住し、モードは日本に帰化します。1943年、英語が敵性語のためモードは岡山商業高校を免職。アメリカ婦人のため世間から冷視されます。特高や憲兵隊がスパイ視する目が光る中、生活のため、英語塾「デー・アンド・ナイト」を開設します。しかし、英語塾禁令となり、所有物を売り食いしつつ、下肥をつくり、重い桶をかついで畑仕事の肉体労働をして家計を支えます。「沿革」4-6頁。

1945年、モードは、男湯で発作のため倒れた夫を介抱するために、自分が裸であることも忘れて女湯から飛んでいきます。岡山の地元で夫婦愛の美談として有名になります。

戦後、物資が不足して日本人ですら闇米など、醜くあがっていた時期、進駐軍の物資の配給をアメリカ籍について説明すれば、簡単に配給を受けることができたはずですが、モードはただの一度も受け取りませんでした。「私は日本の妻なんです」と。

1947年、順三の長男明石真人と赤松今朝三が戦後のものみの塔の活動への勧誘に繁太郎を訪問しますが、繁太郎はノーコメント。妻モードは復帰に応じ、戦後最初のエホバの証人となります。「沿革」7頁。

1949年、モードは。実用英語の必要な港湾都市神戸で最も信頼される英語教育を行なうパルモア学院[1886-2020]、須磨浦女子学園の英語教師に赴任します。1960年、神戸の3つのロータリークラブがモードに顕彰の表彰状を授与します。日本人以上の日本婦道の実践者としての感謝状でした。「沿革」7頁。

1963年8月27日、79歳で逝去。9月3日、無教会とものみの塔折衷の葬儀を行います。

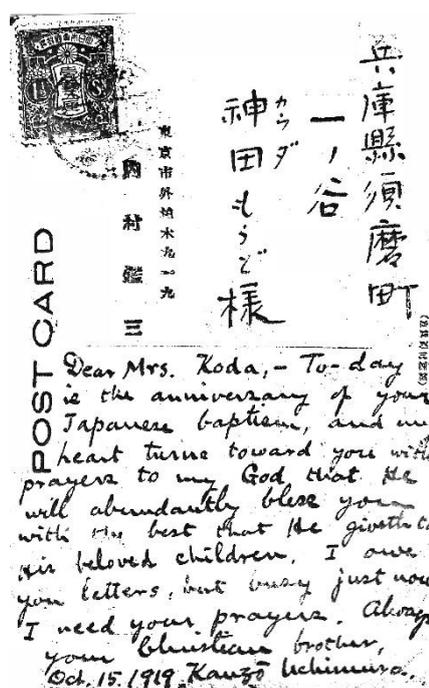
モードは一度も米国に帰国しませんでした。「私がアメリカへ行ったら繁太郎を誰が面倒を見ますか」が常でした。パルモアの教え子たちがモード神田記念奨学金を設立しました。

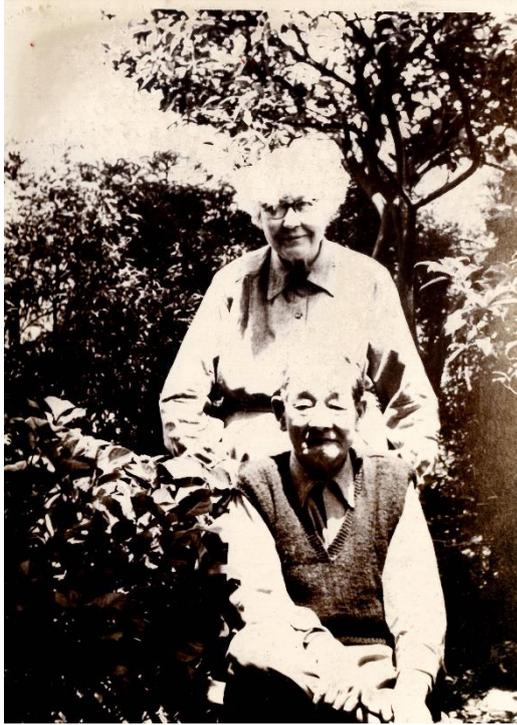
モードの教え子の黒田礼子さん(パルモア学院英語教師)、白木信男さんたちから存命中のモード先生英語教授ノートなどを見せてもらいました。モード先生の人格に出会うことによって、キリスト教信者になった数も多く、モードは必ずしもものみの塔の信者にするにこだわっていなかったことがわかります。理由は、敗戦後の日本で、良きサマリア人を実践する生き方であれば、燈台社であろうとなかろうとこだわらないおおらかさがありました。現在の厳格な画一化された組織には適応しないだろうことは言うまでもありません。モードは聖餐に与ること、他の宗教行事に寛容な態度、軍備拡張に同意しなかった聖書観は生涯妥協することのないものでした。

したがって、明石静栄、神田繁太郎&モード、後藤亮の信仰はキリスト教の異質なものではなく、最も純化されたキリストの証人であったと言えないか。燈台社のメンバーは三位一体の教義を信じません。しかし、時として感嘆せざるをえないほどにキリスト教の倫理と理想に従っていたことは言うまでもありません。

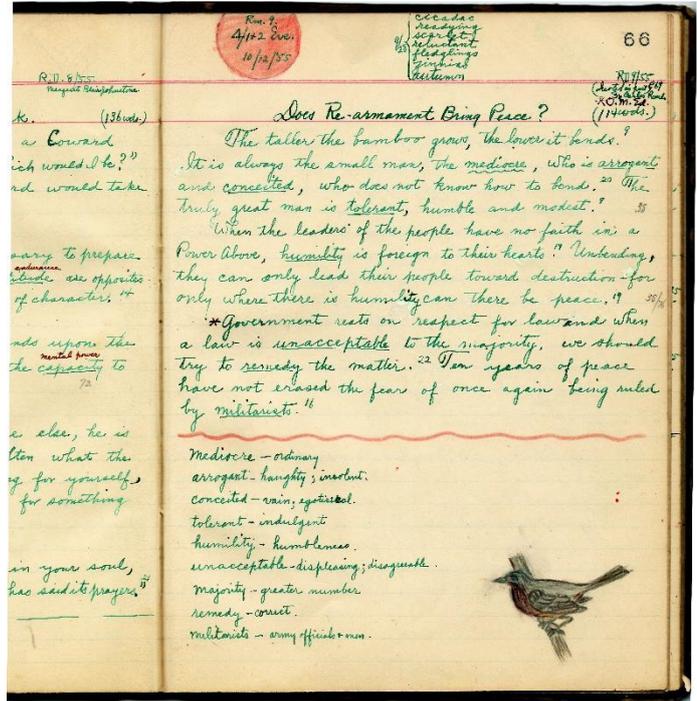
モードは内村鑑三から直接洗礼を受けた三人の内のひとりです。モードは矢内原忠雄(元東京大学総長)の霊的兄でもありました。

内村鑑三から神田モードへの葉書 1919年10月15日付。





神田繁太郎&モード 神戸市灘区薬師通3丁目
撮影年月日不明



パルモア学院 モード教師用指導書
1955年10月12日



前2列目左から二人 後藤亮。最後列立っている 明石静栄, 神田モード「ベテル山荘」1926年10月28日

(3) 異端はやがて正統派に脱皮する

a. 宗教者としての忠実さは推奨されるべきか

1985年6月6日午後4時35分、神奈川県川崎市の駅前交差点付近で鈴木大さん(10歳)がダンプカーにひかれる交通事故が起きました¹⁶⁷。エホバの証人は聖書ファンダメンタリスト¹⁶⁸です。聖書に書かれているとおり、エホバの証人や、保守的なユダヤ教徒は聖書の「血を食べるな」(ヘブライ語 **לֹא תֹאכְלוּ דָמוֹ** ダモ・オー ロートヘールー *damow lo tohelu*)という言葉信じています(創世記 9:4, レビ記 17:10, 申命記 12:23, 使徒 15:28, 29)。聖書の中で血は命を表わすと述べられています(レビ記 17:14)。体内に摂取する行為である輸血を「食べる」とみなしてきたのはキリスト教界, ユダヤ教界も多くの系譜があります。

当時、私は神戸市明舞会衆の王国会館¹⁶⁹の指導者でした。マスコミは輸血拒否に対して苛烈に報道しました。一般の人々もカルト教団として酷評しました。伝道がやりにくくなったことは事実です。聖職者として、脱落者が出ないように、「大ちゃん」の信仰、輸血拒否の根拠を徹底して教育するしか術がありませんでした¹⁷⁰。狂信か、人の命のどちらが正義かの二元論で王国会館の外では沸騰しました。しかし、個人的には会衆の信者と同じくたじろぐことなく、自分も輸血拒否をしたらろうと考えていました¹⁷¹。妻カヨ子はどんなに邪見にする家の方でも雑誌の代金を支払うように導く上で会衆でも一目を置かれていました。ところが、それまでお客さんがいっぱいの中でも、にこやかだった中華料理店の経営者が報道番組を見て、大ちゃんが不憫で怒りました。料理用の出刃包丁をもって、まな板にたたき付けるように音を立て、「おまえら、人間か」と怒鳴りました。妻カヨ子は内心穏やかではありませんが、長老の妻ということで、火に油を注ぐようなことを言わずに「お仕事、失礼しました」と立ち去りました¹⁷²。それほどマスコミを通じて、日本中が炎上していました。

その事件が原因ではなく、1980年代後半にエホバの証人を離脱しました。しかし、宗教者として、現在でも証人の命がけの信仰について、敬意、尊崇、立派だとさえ思っています。指導者だった時に、冷評をつきつけられた屈辱、苦い思い、別離の寂しさはもうまっぴらごめんの気持ちは脱会直後にはありました。脱会すると、エホバの証人の家庭の分裂の相談を受けるようになりました。輸血拒否が人道上問題だともものみの塔を批判するひとつの切り口上にしてアプローチすることも正直言ってありました。しかし、あれから約30年を経ました。ものみの塔協会がなぜ輸血拒否の教理¹⁷³を1950年から言い出したのか、医療面では人工血液の開発に貢献したことは否定できない¹⁷⁴、と複雑な検証、分析、クリティック[批判]が思いに交差するようになっていきます。なぜなら、輸血に伴うリスクについての知識があるからです¹⁷⁵。

¹⁶⁷ エホバの証人の聖書研究の学びのために自転車で信仰仲間の家に向かう途中だった。両下肢開放性骨折の重傷。推定出血は500ccなので一刻も早い輸血に迫られていた。

¹⁶⁸ 逐語靈感説を信じるファンダメンタリスト[根本主義者]である。聖書に書かれた通りに生きる。

¹⁶⁹ エホバの証人の集会(公開聖書講演会、ものみの塔研究、神権宣教学校、奉仕会、書籍研究など)を行う建造物。

¹⁷⁰ 書店経営の鈴木誠さん(当時42歳)の長男、市立高津小5年生の大ちゃんが「生きたい」と言って息を引き取った。そのことを受け、大ちゃんの両親はコメントした。「復活を信じている。悲しくないわけではない。私たちの行動が正しかったかどうかは、私と妻が死ぬときに分かるはずだ」と。

¹⁷¹ エホバの証人の医師たちと地域大会の救護部門で共にキュアとケアの奉仕をした。さらに、医療関係者に伝道する時、「輸血」を避けることが聖書の理解であると伝えると、医師や看護師たちは耳を傾けることを経験してきたからであった。

¹⁷² 1ヵ月後に妻が中華料理店に伝道に行ってみると、「あの時は興奮してっとな」と妻に頭を掻きながら店主は笑っていた。

¹⁷³ 統治体によって公的に定式化されたもの。

¹⁷⁴ 輸血拒否は、IC、患者のオートノミー※、事前指示、代諾決定、患者の最後の利益(best interest)などの多様な倫理的問題を考えさせる機縁になった『日臨麻会誌』(日本臨床麻酔学会誌) Vol.26 No.3 (山田卓生 2006年 303-308頁)。

※「オートノミー」(ギリシャ語 **αὐτονομία** オートノミア *autonomia*)は、自主的判断権「自分で自分に自身の法を与える者」(自主・自律・自立、自治、自治権、自主権、自己決定権など)。

¹⁷⁵ 英国で2011年に行われた9000件以上の輸血に関する聞き取り調査から、その半数以上で輸血を回避できた可能性があること

現在では、はっきり申し上げるのですが、私が輸血を拒否するのは、宗教上の理由というよりも、医療上の理由¹⁷⁶です。現在の私自身も躊躇なく輸血拒否を選択します。

しかし、輸血は重度の外傷患者には効果があります。確かに近年、医療関係者は、軽度の外傷患者への輸血は、かえって死亡率を増加させると発表するようになりました。前述の大ちゃんは大出血でした。それでも輸血拒否することは人道上許されるのかという問いです。災害大国と言われる日本で、海外の地震、サイクロン、火山噴火などのボランティア活動に仕える者として熟考します。ダム放流、土砂崩れ、空爆などによる家屋の倒壊などを世界各地で目撃してきました。救急病院における血液不足が起こり得ます。医師たちも、赤血球のABO血液型やRh血液型や、白血球のHLA型(Human Leukocyte Antigen)の血液型や、長期の保存ができない血液成分(血小板など)を賄うためには献血という制度をベースにして医療に携わってきました。そんな現場の医師たちに無輸血手術¹⁷⁷について説得することは釈迦に説法みたいなものです。

エホバの証人は、「輸血拒否」、「格闘技授業拒否」、「投票拒否」などで日本社会から精神的な敵意の的になっています。キリスト教界、および元エホバの証人の2世、3世からも霊的に拘留されています。今朝は「弁証学」を学ぶ時間ですから、「これから申し上げる私の弁明¹⁷⁸(ギリシャ語 ἀπολογία アポロギア apologia)を聞いてください」(使徒 22:1)。

皆さんとご一緒に「弁明」アポロギアについて考えましょう。

a. 息子を殺すアブラハムの信仰

アブラハムがイサクを神に燔祭として捧げる話が創世記に綴られています。宗教者ならば、自分の息子を殺そうとしたアブラハムの信仰をどう考えるでしょうか。

自分の息子を殺めることを勧める宗教は健全でしょうか。神は、言われた。「私は今日、天と地をあなたがたに対する証人として呼び出し、命と死、祝福と呪いをあなたの前に置く。あなたは命を選びなさい。そうすれば、あなたもあなたの子孫も生きる」(申命記 30:19)。子どもの命を奪うのではなく、「命を選びなさい בַּחַר בַּחַר *bachar*」と言うのが、生殺与奪の権がある神の器の本領ではないのでしょうか。

人身御供¹⁷⁹について聖書の神は望んだでしょうか。否、わが子を殺すようには勧めない

とが明らかになっている National Comparative Audit of Blood Transfusion: Part 1 Audit of Use of Blood in Adult Medical Patients (2011); available at go.nature.com/yubguj

¹⁷⁶ 学術誌『Nature』Vol. 12 No. 7(2015年)の無輸血の科学的論証。“近年、輸血は患者の命を救う反面、しばしば不要で、時に有害でさえあることが分かってきた。ジョンズ・ホプキンス医療システム(米国メリーランド州ボルティモア)の血液管理計画長である麻酔科医の Steven Frank は、「私たちは、輸血によって患者の命を救うことができ、その量は多いほどよいと洗脳されていたのだと思います。今では逆に、輸血量が少ないほどよいと考えるようになりました」と言う。”

Frank氏はさらに、“輸血は、必ずしも意図した効果を得られないだけでなく、危険をもたらすこともある。輸血された血液は、感染症を媒介し、心臓に大きな負担をかけ、肺を損傷する恐れがある。免疫系にも悪影響を及ぼす。「血液は液体の臓器であり、輸血は他人の臓器を移植する行為なのです」と Frank は言う。” <https://www.natureasia.com/ja-jp/ndigest/v12/n7/%E8%BC%B8%E8%A1%80%E3%82%92%E6%B8%9B%E3%82%89%E3%81%97%E3%81%A6%E5%91%BD%E3%82%82%E6%95%91%E3%81%86/64894>

¹⁷⁷ 「上皇陛下の執刀医」として知られる天野 篤[1955-]は「無輸血手術」で輸血に同意しない患者を受け入れ心臓手術を行っている。78歳だった上皇陛下(当時は天皇陛下)は東京大学医学部附属病院で心臓バイパス手術を受けた。『天職』(天野篤 プレジデント社 2021年 106-107頁)。

¹⁷⁸ 「私を批判する人々には、こう弁明します」(I コリント 9:3)、「一方は、私が福音を弁明するために捕らわれている」(フィリピ 1:16,17)、「私の最初の弁明の際には、誰も助けてくれず、皆私を見捨てました」(II テモテ 4:16)。「あなたがたの抱いている希望について説明を求める人には、いつでも弁明できるよう備えていなさい」(I ペトロ 3:15)。

¹⁷⁹ 北上川(岩手・宮城)は、洪水によって河川流域の土地を肥沃にして作物を実らせてきた。一方、洪水により、人命や家屋の犠牲も避けることはできなかった歴史もあった。東北ボランティアを通じて、水害を防ぐために人身御供、人柱のいたましい記録を知った。そこで2018年8月22日、人柱の伝承がある「お鶴明神」(宮城県登米市中田町)という祠に、宮城神社本庁に私は許可をとり、

神だからこそ民衆は崇敬し、愛し、共生してきたのです。「もし、主に仕えることがあなたがたの気に入らないのなら、ユーフラテス川の向こうにいた先祖が仕えた神々でも、今あなたがたが住んでいる地のアモリ人の神々でも、あなたがたが仕えようと思うものを今日、選ぶがよい。しかし、私と私の家は主に仕える」(ヨシュア 24:15)。「私と私の家は主に仕える」(ヘブライ語 **וְאֲנֹכִי וּבֵיתִי יַעֲבֹד אֶת־יְהוָה** *nōkî ūbêti naābōd et Yahweh* アノキー ウベティ ナアボッド エト ヤハヴェ *as for me and my household, we will serve the YHWH*)と自発的に神と共に生きる決断は何に基づいているのでしょうか。恵み、憐れみ、公正に富まれる神だから「私と私の家(家族)」は**יהוה**に仕えるのです。目の前で恐怖で怯えるわが子に短刀を突きつけ、殺すように命じる神なら喜んで従うでしょうか。「民主主義」は「民」が主人公です。さすれば、洗礼にしても、自らの意思で告白して選んできたのです。プロテスタントの告白教会は約500年、自由意志で決定してきました。「民主主義」の信仰です。確かに、モーセ、ダビデ、パウロも「今や、……殺す者(φονεῖς *phoneis* フォネイース *murderers* 複数形)となった」(使徒 7:52)の場面の「殺す人」¹⁸⁰(ホモ・ネカーンス)とは本質的に異なります。

アブラハムが人身御供のようにイサクを献げるのをモリヤ山でためらい、中止したとしたらどうでしょうか。大義のために個のしあわせを犠牲にすることを望む神なのでしょうか。

筆者は小学校の時、読んだマンガを忘れられません。オランダのハンス少年の行動はその後の人生に少なからず影響を与えました。堤防の裂け目から海水が漏れていました。見つけたハンス少年は一晚中その裂け目に指をいれて凍死してしまう話です。末次一郎が追い求めた武士道の模範に、「水の下」¹⁸¹があります。ハンス少年や小弥太は実存の人物かどうかわかりません。大義のためとはいえ、命がけの行動は人々の心を揺り動かします。宗教は心に平安をもたらすものです。人身御供、人柱、殉死などの自己犠牲をすすめるなら人々は狂信として抵抗します。しかし、歴史では、郷土、国、他者のために命を捧げた美談が語り継がれます。今もロシア・ウクライナ戦争ではキリスト教国同士が祈りながら、戦場で戦っています。

ものみの塔信者は、輸血拒否で命を潰えるなら名声、栄光、忠実をほめたたえるのでしょうか。いいえ。出血が致死量に達しているわが子に輸血を医師から勧められたら、親は苦悩するのです。民主主義は、即答します。「輸血をお願いします」と。

もしアブラハムがイサクを燔祭に捧げる場所で、息子を殺めるのを拒絶したと仮定します。軟弱な信仰の故に神は罰すると考えるのは道理にかなっていますか。たとえ神託を守らなくても愛の神は赦す方と、民主主義者は推断します。自分の子を殺さない人々こそ本来の人間味ある社会だと論断します。しかし、宗教には、アブラハムや輸血拒否する子どもの親を偉大とする内包、温存、奨励する傾向があります。なぜなら人間ではなく、神が主だからです。

b. いかなる暴力からも遠ざかるから共存できる

鎮魂(ちんこん)のために、大國龍笙(伊去波夜和氣命神社宮司)と吉野雄一(渡波地区振興協議会会長)をお連れした。しかし、人柱説について、「工事を堅固にするために、その底に人間を生埋にするというのが真の意義……人柱伝説は一から十まで純粹の空想的産物」と否定する見解もある『日本神話伝説の研究2』(高木敏雄、大林太良編 東洋文庫 平凡社 1988年 173頁)。

¹⁸⁰ 拙論「キリスト教の弔い—現代問われている死生観(日本「祈りと救いとこころ」学会 2016年 10頁)」。『《殺す人》(ホモ・ネカーンス—《いのち》をキリスト教的に考えるための一つの視点—)』(水垣渉 関西学院神学研究科 2011年)。「ホモ」は「人」、「ネカーンス」は「殺す」という意味の動詞「ネコー」(*neco*)の現在分詞。「殺人」「ホミキエディウム」(*homicidium*)、「殺人者」「ホミキエダ」(*homicida*)。『ホモ・ネカーンス 古代ギリシアの犠牲儀礼と神話』(ヴァルター・ブルケルト 前野佳彦訳 法政大学出版局 2008年 *Homo Necans Interpretation altgriechischer Opferriten und Mythen* Walter Burkert Berlin 1997)。

¹⁸¹ 『水の下』(山本周五郎 新潮社 1973年 71-90頁)。

元・英国国教会聖職者であり、キリスト教異端史研究者であるD.クリスティ・マレイは『異端の歴史』で次のように述べています。

「確かなこととして言えるのは、時が経つうちに一つの信仰の共同体が出現し、それが正統派として広く承認されるようになった、ということだけである。そしてひそかに、あるいは公然と、正統派とはなにかの点で異なる意見を持ち、しかも自分は真にキリストに倣い、その道に従う者であると自覚する人びとはつねにいたのである。……結局のところ信仰の規範形成の跡をたどり、その規範からの逸脱を異端と定義 するという以上のことはできないのである。ある宗派あるいは個人を異端と定めることは、承認されている信仰 の規範の一部にたいしてその宗派あるいは個人が忠誠を守っていないことを見てとるということ以外ではないだろう。それは事実を述べたということであって、相手の価値をおとしめる判断ではないだろう。われわれの正統的信仰が、神の意にかなうという意味の正統な信仰をどこまで真実に反映しているかは、神にしかわからないの かもしれない。神学者は有限な人間の身で、無限で限定されえないものを言語の内部につなぎとめようとしているのだが、それは不可能なことだからである」¹⁸²。

「規範からの逸脱を異端と定義する」ことははばかれるのです。「われわれの正統的信仰が、神の意にかなうという意味の正統な信仰をどこまで真実に反映しているかは、神にしかわからないのかもしれない」と論及しています。

マー・グレゴリオス・イブラヒム(シリア正教アレppo大主教)との2012年の約束¹⁸³により、筆者は2017年からシリア国アレppoに孤児の家の建設に渡河してきました。シリア正教や、中東のアラブ・オーソドックスは、ネストリウス[381-451]主義者です¹⁸⁴。非カルケドン信条¹⁸⁵として異端視されてきました。しかし、「私たちが数は多いが、キリストにあって一つの体であり、一人一人が互いに部分なのです」(ローマ 12:5)の「キリストにあって」(ギリシャ語 ἐν Χριστῷ エン・クリストー *en Christo*)という信仰の土台は共通なのです。「異端」宣言は公会議¹⁸⁶が担ってきました。コンスタンティノポリス総主教だったネストリウスは、聖母マリアを「キリストの母」(クリストコス)と唱えたため431年に異端として排除されました。「神の母」(テオトコス)と呼ぶべきだとアレクサンドリア総主教のキュリロス[376-444]は主張しました¹⁸⁷。しかし、ローマ・カトリック教会神学者ハンス・キュング[1928-2021]は「キュリロスという人物は良心の呵責などというものをまったく知らない権力政治家であり、彼が操作する人物たちの手助けによって新しい公会議において自己の立場を強引に押し通すことにもまったく躊躇しない人物であった」、とキュ

¹⁸² 『異端の歴史』(D.クリスティ=マレイ 野村美紀子訳 教文館 1997年 23-24頁)。

¹⁸³ 「なぜシリアには冷たいの？」被災地から聞こえる声『クリスチャントゥデイ』2023年2月10日付)。

¹⁸⁴ 『ベーカー神学事典』(神学事典翻訳編集委員会 いのちのことば社 1982年 342頁)。

¹⁸⁵ 『エウテュケスとネストリウス駁論』では、キリストの中に「二つの本性から」(*ex duabus naturis*)また「二つの本性において」(*in duabus naturis*)成った神と人との結合があるということの意味をラテン語で探究している。451年のカルケドン公会議の後、「オリエンタル・オーソドックス」として知られることになる諸「教会」は、「非カルケドンの教会」として、また「キリスト単性説派の教会」として、コプト教会、シリア正教会、アルメニア使徒教会は論争が長引いた結果、ローマ・カトリック教会や正教会からも分離した状態にとどまってきた。『異端信仰』(G・R・エヴァンズ 木寺廉太訳 教文館 2008年 104-105頁)。

¹⁸⁶ 「公会議」(ラテン語 *concilium* 英語 *council*)は、ローマ・カトリック教会の教義、教会法の規定、教皇のエクスターシア(権力)について決定する機関。第1回ニカイア公会議はローマ帝国のコンスタンティヌス帝[コンスタンティヌス1世 280頃-337年]が招集。アタナシウス派を正統としアリウス派を異端とした。451年のカルケドン会議で、東ローマ皇帝マルキアヌス[Marcianus 396-457]は、単性説を異端とした。

¹⁸⁷ 『異端事典』(チャス・S・クリフトン 田中雅志訳 三交社 1998年 160-161頁)。

リロスを評しています¹⁸⁸。

したがって、歴史的キリスト教会が異端と宣言していたとしても、その宣言は聖書的、霊的、信仰的に有効とは言えません。ともすると、異端は神から出ていないから自然消滅すると脱会工作をするプロテスタント教会の救出牧師たちは言います。聖書字句拘泥主義者らしい聖書引用です。「以前にもテウダが、自分を何か偉い者のように言って立ち上がり、その数四百人くらいの男が彼に加わったことがあった。彼は殺され、従っていた者は皆散らされて、跡形もなくなった」と(使徒 5:36)。

前述のヤン・フス、ジョン・ウィクリフやヴァルド派などの末路について考察すべきです。歴史の表舞台から跡形もなく抹殺されても、依然として聖書信仰のたいまつは燃え続けています。神の是認を得ていなかったかどうかは神のみが知る範疇です。

筆者は、2017年から中東で孤児の家をつくるボランティアに仕えています。シリア、レバノンでお会いしたキリスト者は、アラブ・オーソドックスです。4世紀頃に地中海沿岸でできたキリスト教より以前から存在しています。とりわけ初代教父アウグスティヌス[354-430]¹⁸⁹たちより前、つまり西暦一世紀から連綿と礼拝を維持してきました。にもかかわらず、ローマ・カトリック教会、プロテスタント教会は東方教会が初代教会からのリンクがないと誤信しています。シリア正教会、コプト教会、アルメニア使徒教会の三教会は途切れませんでした。イスラーム教が中東を支配した時も共存してきたのです。アッシリア東方教会は今でも中東の各地に点在しており、イスラーム教徒と混在しています。イラクには中東で一番大きな教会があります。

キリスト教もユダヤ教にしてみれば、異端でした。アラブキリスト教徒の起点になるネストリウス主義者も異端として退けられました。三教会も、2,000年間に中断はありません。7世紀にイスラーム教が中東に席卷したときも共生してきました。ところが、十字軍¹⁹⁰がアラブに侵攻した時、イスラーム教徒だけでなく、アラブ・オーソドックスも惨殺されてしまいました。

ヤン・フス、ジョン・ウィクリフ、ヴァルド派、マルティン・ルター、再洗礼派、ピューリタン、ウィリアム・ミラーからのアドベンティスト派、救世軍、ペンテコステ派なども例外なく、異端として、歴史的キリスト教会から白眼視され、迫害され、流血の罪の対象となってきたことは歴史が証明しています。しかし、年代を経るに従って、シドス会議を経て、異端解除宣言をしなくても現在では市民権を得てきました。近年では、アッセンブリー、セブンスデー・アドベンティスト、末日聖徒イエスキリスト教会などを異端として排除する傾向がトーンダウンしています。

中には、亀裂がなかなか修復できない場合もあります。

1993年11月5-7日、日本リバイバルクルセードが推進母体となり開かれた甲子園リバイバルミッションは、悪霊からの解放いやしを強調する「力の伝道」がありました。筆者は26歳から約40歳近くまで、キリスト教の流血の罪、不一致、魔女狩りのような負の歴史を王国会館の講壇から語る者でした。罪滅ぼしと言えるかどうかはわかりませんが、教会一致の働きに牧会を

¹⁸⁸ 『キリスト教 本質と歴史』(ハンス・キュンク 福田誠二訳 教文館 2020年 293頁)。

¹⁸⁹ 西方教会の神学の父と言われるアウグスティヌスは現在のローマ・カトリック、プロテスタントといった西方教会の教義の根幹となっている。「原罪」、「正戦論」、「 sacrament」など。

¹⁹⁰ 拙論「キリストはキリスト教だけのものではない」(3)二項対立から聖書の原典へ『クリスチャントゥデイ』2021年1月5日)。

<https://www.christiantoday.co.jp/articles/28951/20210105/christ-is-not-only-for-christianity-3.htm>

しながら、携わるようになります。神戸宣教協力会の牧師会の連絡係、発行物、会計を担いました。福音派は、分裂していました。主だった福音派の牧師たちは種々のいやしの大会を異端として退け、排除しました。神戸の塩屋を本拠地にする日本イエス・キリスト教団はいまだに和解できていません。

筆者は2009年の7月8-9日、日本プロテスタント宣教150周年記念大会の事務局員として1年以上、神戸から毎月通いました。山北宣久¹⁹¹実行委員長に日本へのプロテスタント宣教は沖縄の方が日本本土より早かった¹⁹²ことをプログラムに盛り込むことを提言し、実行委員会で採択されました。会議後、露骨な感情論があり、糾弾¹⁹³されました。組織は人間の集まりですから、個性の衝突、確執、ねたみなどがあって当たり前です。聖書にもパウロとバルナバの対立¹⁹⁴が記録されています。

前述の通り、最初のニカイア公会議はローマ帝国の皇帝が招集しました。キリスト教の教義、異端決議、制度化はローマ法に基づく帝国のヒエラルキーを温存してきたことは否めません。条例化、法治主義、組織優先は、政教一致の中で宗教エリート帝国をおよそ1500年間に作り上げてきました。そのスキスマもDNA細胞を受け継ぎます。ものみの塔聖書冊子協会の画一化された特徴は、制度化されたローマ・カトリック教会の組織の延長線にあります。「あなたがたの信仰を支配しようとする者」(Ⅱコリント 1:24)になりさがったのです。西暦一世紀、ペトロと使徒たちは答えていました。「人に従うより、神に従うべきです」(使徒 5:29)。キリストに出会って、たとえ、異端、スキスマ、サタン崇拝(黙示録 2:13)に陥っている指導者がいる教会であっても、「我と汝」の関係、エン・クリストー(キリストにあつて)に生きるならば、真のキリスト教徒です。

「ティアティラの人たちの中で、この女の教えを受け入れず、サタンのいわゆる深みを知らない……ただ、私が来るときまで、今持っているものを固く守りなさい。勝利を得る者、私の業を最後まで守り続ける者には、諸国の民の上に立つ権威を授けよう」(黙示録 2:24-26)。

< 結論 >

ウエストミンスター信仰告白第1章の8は「ヘブル語の旧約聖書と、ギリシャ語の新約聖書とは、神によって直接靈感され、神の独特な配慮と摂理によって、あらゆる時代に純粋に保たれたので、確実である」。また9には、「聖書解釈の無謬の規準は、聖書自身である。したがってどの聖句の真の完全な意味について疑問のある場合も、もっと明らかに語る他の箇所によって探求し、知らなければならない」とあります。

靈感の書物聖書は読んでいてわからない場合、すぐに牧師、神父、先輩に訊く前に、聖書は聖書で釈義する、という訓練がなされていないと、知性をたいせつにする異端の方たちには対応できません。

¹⁹¹ 山北宣久[のぶひさ 1941-] 立教大学卒業、聖ヶ丘(ひじりがおか)教会牧師(1975-2011)、日本基督教団総会議長を4期務めた。2010年議長として、教団常議員北村慈郎牧師に対し受洗していない者に聖餐に与らせたと、教団史上初の免職戒規処分を実施。反面、セブンスデー・アドベンティストを異端として排除しない姿勢もあった。

¹⁹² バーナード・ジャン・ベッテルハイム [1811-1870] 英国の宣教師で医師。1846~54年の間、那覇で伝道した日本最初のプロテスタント宣教師。現スロヴァキア首都ブラチスラヴァにユダヤ系の子として誕生。『琉訳聖書』を1855年香港で発刊。つまり150年前の1859年より以前に、1846年5月1日に沖縄にベッテルハイム宣教師は宣教や医療に努めた。『日本の聖書』(海老沢有道 講談社学術文庫 1989年 125-138頁)。

¹⁹³ 同じ聖ヶ丘教会という事もあったでしょうが、網中彰子氏(現日本基督教団総幹事)が山北実行委員長に意見するなど激高していました。エキュメニカルな組織であっても、中央集権的な制度を4世紀から継承している一断面図です。

¹⁹⁴ 使徒 15:2。

つまり聖書の神的権威を確信する根拠に聖霊の内的証明を指摘しています。

たとえば、聖書本文研究が証言しているように、ヨハネ第一 5章7-8節に「なぜなら天において証をするものが三つある。それらは父とことばと聖霊とである。そして三つのものは一致する」との加筆がありました。科学者の父と言われるアイザック・ニュートンは、1754年、「二つの聖句の著しい変造に関する歴史的記述」を著わしました。なぜなら古代の聖書原典を徹底的に調べました。その結果、ヨハネ第一 5章7-8節の言葉がギリシャ語聖書原本にはないことを発見し、そこで、ニュートンは三位一体論を否定してしまいました。

ニュートンと同じようにエホバの証人もそんな聖書のまちがった理解に反発して教会を出たのです。

最初に、分派(スキスマ)がやがて異端になることを申し上げました。歴史は振り子のように変化していきます。かつて分派であったグループが正統派になり、新しいセクトが生まれると、眉をひそめて差別、迫害したり、あるときには宗教戦争まで起こしてきました。しかし、50年、100年を経ても、そんなセクト、異端も正統にイエス・キリストを救い主と告白するように歴史を創造なさった神が介入なさるのではありませんか。

なぜなら、つまり半死半生の人が息も絶え絶えなのに無視する宗教者、聖職者より、神は反対側を通して無視する正統派ではなく、異端のサマリア人と同じようにしなさいと説かれているからです。世界で最も親しまれている行動規範です。戦時下、宮城遥拝をし、神棚を教会、神学校に置き、礼拝をした宗教者と異なり、天皇崇拝を断固拒絶し、投獄され、拷問を受け、獄死していったアベルの血が大地から叫んでいないでしょうか。神学校、大学、なんの資格もなくとも良心者として行動したのです。したがって、ヤン・フス、ジョン・ウィクリフたちの流れは今も金字塔として、アメリカのアーミッシュ、あるいは日本では憲法9条を守る働きの戦列に砂漠で発見するエメラルドのように光っています。正統派かどうかは教義より行動、つまり「実」(マタイ 7:20,21)で判断できるでしょう。